Panasonic®

# 取扱説明書

## デジタルカメラ

品番 DMC-FH7

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(114～117ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

VQT3P76


安全上のご注意

はじめに

準備

基本

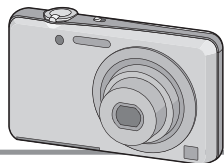
撮影

再生・編集

楽しむ

他の機器との接続

その他 Q&A

# デジタルカメラで！

## 撮る

**おまかせで撮る**(P20)
**動画を撮る**(P26)
**タッチパネルを使って撮る**(P37、38)

## 見る

**写真/動画を見る**(P24、27)
**スライドショーで順番に見る**(P67)
**分類して見る**(P69)

## 楽しむ

**ビューティレタッチでエステやメイクアップ効果を楽しむ**(P82)
**スタンプで楽しむ**(P84)

# もくじ

**→「安全上のご注意」を必ずお読みください（114～117ページ）**

## はじめに



## 準備



## 基本

## 撮影

→「安全上のご注意」を必ずお読みください（114～117ページ）

## 再生・編集



## 楽しむ

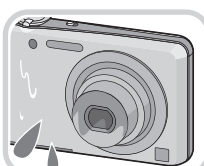


## 他の機器との接続



## その他・Q & A

# ご使用の前に

## ■ 本機の取り扱いについて…

**本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。**

- 下記のような状態で使用すると、レンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
  また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
  ・本機を落とす、またはぶつける
  ・本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる
  ・本機に取り付けたストラップに、アクセサリーなどをぶら下げる
  ・レンズ部や液晶モニターを強く押さえつける

**本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。**
**ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。**

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンのすき間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
  ・砂やほこりの多いところ
  ・雨の日や浜辺など水がかかるところ

## ■ つゆつきについて(レンズや液晶モニターがくもるとき)…

- つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズや液晶モニター汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- つゆつきが起こった場合、電源スイッチを [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

## ■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

## ■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

## ■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。
個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

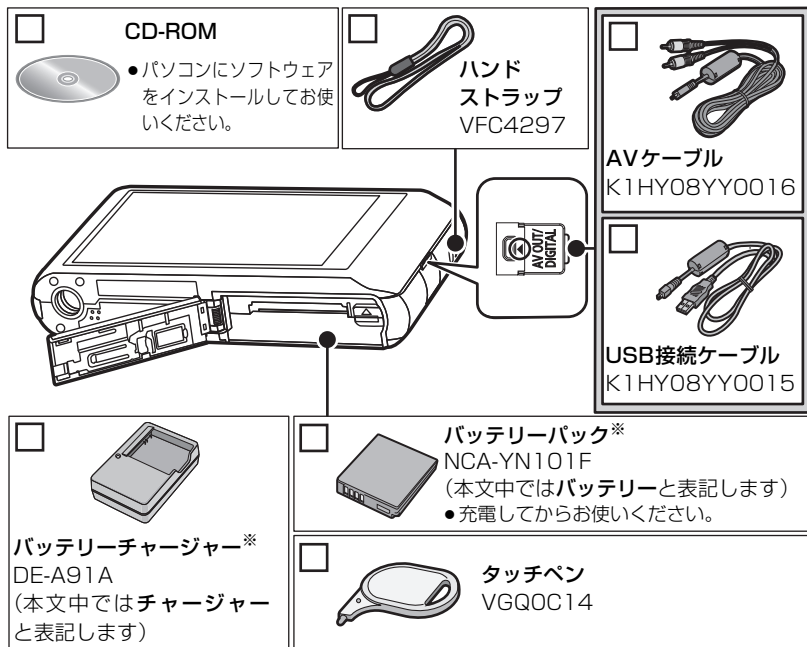
## ■ 「使用上のお願い」も、あわせてお読みください(P106)

# 付属品

**付属品をご確認ください。** 

記載の品番は2011年5 月現在のものです。変更されることがあります。

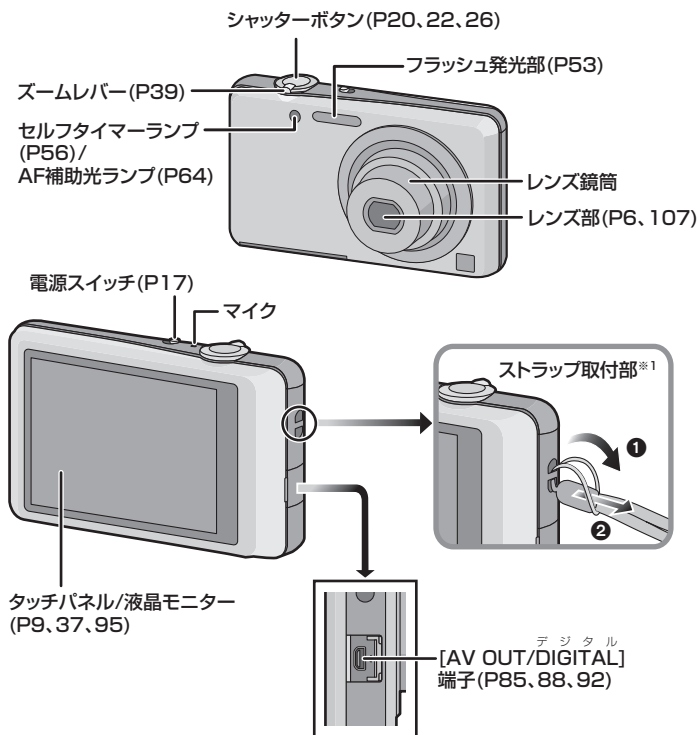
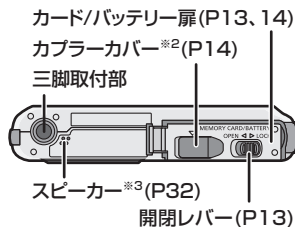


- □ **CD-ROM**
  - ●パソコンにソフトウェアをインストールしてお使いください。
- □ **ハンドストラップ** VFC4297
- □ **AVケーブル** K1HY08YY0016
- □ **USB接続ケーブル** K1HY08YY0015
- □ **バッテリーチャージャー**※ DE-A91A（本文中では**チャージャー**と表記します）
- □ **バッテリーパック**※ NCA-YN101F（本文中では**バッテリー**と表記します）
  - ●充電してからお使いください。
- □ **タッチペン** VGQ0C14

**※予備のバッテリーまたはチャージャーを購入されるときは、別売品のバッテリー（DMW-BCK7）またはチャージャー（DMW-BTC8）をお買い求めください。**
**別売品のバッテリーは付属のチャージャーでも充電できます。**

- **●カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。**
- ●別売品については93ページを参照してください。
- ●包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- ●小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

# 各部の名前

シャッターボタン(P20、22、26)
フラッシュ発光部(P53)
ズームレバー(P39)
セルフタイマーランプ(P56)/
AF補助光ランプ(P64)
レンズ鏡筒
レンズ部(P6、107)

電源スイッチ(P17)
マイク
ストラップ取付部※1
❶
❷
タッチパネル/液晶モニター
(P9、37、95)
[AV OUT/DIGITAL]
端子(P85、88、92)

※1 **落下防止のため、必ずストラップを取り付けてご使用ください。**
※2 ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC5)とDCカプラー(別売:DMW-DCC10)を使用してください。接続について、詳しくは14ページをお読みください。
※3 スピーカーを指でふさがないでください。

# タッチパネルを使う

本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。

| **タッチする**<br>タッチパネルを押して離す動作です。 | **ドラッグする**<br>タッチパネルを押したまま動かす動作です。 |
| --- | --- |
|  |  |
| タッチパネルに表示されるアイコンや画像を選択するときなどに使います。<br>● 複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しない恐れがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。 | 画面を水平にドラッグして画像を送ったり、表示している画像の範囲を変更するときなどに使います。<br>また、スライドバーを操作して画面を切り換えるときなどにも使います。 |

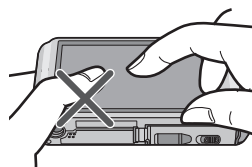


### お知らせ

- 市販の液晶保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。
（液晶保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります）
- 市販の保護シートをはり付けて使用している場合や、反応しにくいと感じるときは、**少し強めにタッチしてください。**
- 本機を持つ手がタッチパネルを押さえていると、タッチパネルは正常に動作しません。
- 付属のタッチペン以外の先のとがったものや硬いもので押さないでください。
- 爪を立てて操作しないでください。
- 強い力でこすったり、押したりしないでください。
- 指紋などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
- タッチパネルに表示されるアイコンについては、95ページの「液晶モニターの表示」をお読みください。

## ■ タッチペンについて

指で操作しにくい場合など、細かな作業には、タッチペン（付属）が便利です。

- 乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- 収納時はタッチペンと液晶モニター（タッチパネル）を重ねないようにしてください。強い圧力がかかると、液晶モニター（タッチパネル）が壊れる原因になります。

# バッテリーを充電する

## ■ 本機で使えるバッテリー(2011年5月現在)

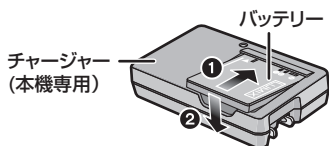
本機で使えるバッテリーは付属のバッテリーまたは DMW-BCK7(別売)です。

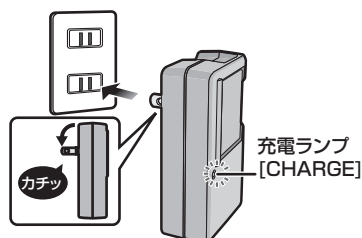
| パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。<br>なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。 |
| --- |

● 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。

## 充電する

● お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
● チャージャーは屋内で使用してください。

### 1 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む

### 2 電源コンセントに差し込む

● 充電ランプが点灯し、充電が始まります。

## ■ 充電ランプの表示について

点灯:　充電中
消灯:　充電完了(充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください)

**●点滅するときは**

・バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が 10 ℃~30 ℃のところで再度充電することをおすすめします。
・チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

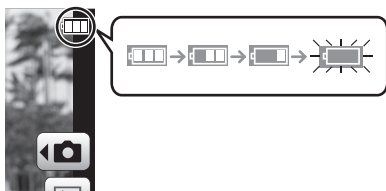
## ■ 充電時間について

| | 付属のバッテリー | DMW-BCK7(別売) |
|---|---|---|
| 充電時間 | 約 115 分 | 約 120 分 |

● **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**

## ■ バッテリー残量表示について

残量表示が液晶モニターに表示されます。

● バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。
バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

お知らせ

● **電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**

● 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。

● バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。(バッテリーが膨らむ特性があります)

準備

# バッテリーを充電する（つづき）

## 使用時間と撮影枚数の目安

### 写真撮影

| | 付属のバッテリー | DMW-BCK7(別売) |
|---|---|---|
| 容量 | 660 mAh | 680 mAh |
| 記録可能枚数 | 約240枚 | 約245枚 |
| 撮影使用時間 | 約120分 | 約122分 |

**CIPA規格による撮影条件**

- CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。
- 通常撮影モード
- 温度23 ℃/湿度50%RH、液晶モニターを点灯
- 当社製のSDメモリーカード（32 MB）使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始（手ブレ補正［ON］設定時）
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

**記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。**
**[例えば2分に1回撮影した場合は、上記（30秒に1回撮影）の枚数の約1/4になります]**

### 再生

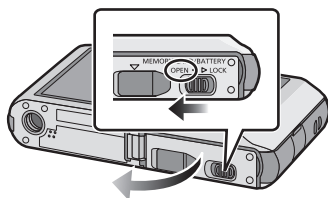
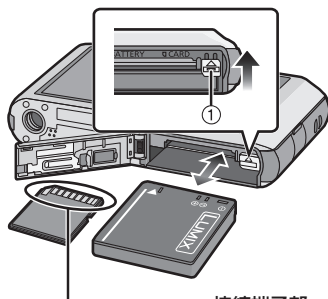
| | 付属のバッテリー | DMW-BCK7(別売) |
|---|---|---|
| 再生使用時間 | 約200分 | 約205分 |

**お知らせ**

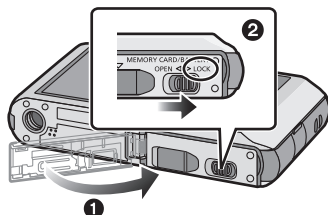
- **使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。**
  例えば、以下の場合は、使用時間と撮影枚数は短くなります。
  ・スキー場などの低温下
  ・[液晶モード]使用時
  ・フラッシュ発光やズームなどの動作を繰り返したとき
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

# バッテリー/カード(別売)を入れる・取り出す

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。

**1** 開閉レバーをOPEN側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く

**2** バッテリー:
向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、
バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認する
取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す

カード:
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

**3** ❶ カード/バッテリー扉を閉じる

❷ 開閉レバーをLOCK側にスライドさせる

**お知らせ**
- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。(長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、液晶モニターのLUMIX表示が完全に消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)

準備

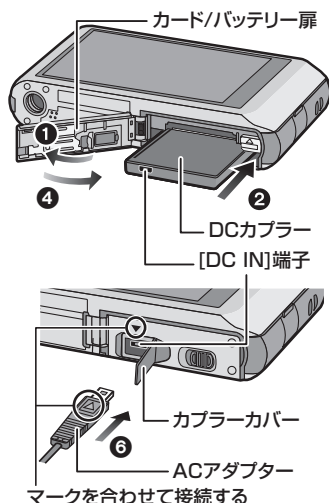
# バッテリー/カード（別売）を入れる・取り出す（つづき）

## バッテリーの代わりに ACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を使う

ACアダプター(別売:DMW-AC5)およびDCカプラー(別売:DMW-DCC10)は、必ずセットでお買い求めください。ACアダプター(別売)は単独では使用できません。

❶ カード/バッテリー扉を開く
❷ DCカプラーを向きに気をつけて入れる
❸ カプラーカバーを開ける
- 内側からカプラーカバーを押して開けてください。

❹ カード/バッテリー扉を閉じる
- カード / バッテリー扉は確実に閉じてください。

❺ ACアダプターを電源コンセントに差し込む
❻ ACアダプターをDCカプラーの[DC IN]端子に接続する
- 必ず本機専用のACアダプターおよびDCカプラーを使用してください。それ以外を使用すると、故障の原因になることがあります。

### お知らせ

- 三脚の種類によっては、DCカプラー接続時に取り付けることができないものがあります。
- ACアダプター接続時にカード/バッテリー扉を開くときは、必ずACアダプターを抜いてください。
- 使わないときは、ACアダプターおよびDCカプラーを取り外し、カプラーカバーを閉じておいてください。
- AC アダプターおよび DCカプラーの取扱説明書もお読みください。
- 別売品については、93 ページをお読みください。

# 内蔵メモリー/カードについて

本機では以下のように動作します。
- **カードを挿入していない場合:**
  **内蔵メモリーで画像の記録・再生**
- **カードを挿入している場合:**
  **カードで画像の記録・再生**

内蔵メモリーの場合
(アクセス表示※)
カードの場合
(アクセス表示※)
※アクセス時は赤く点灯します。

## 内蔵メモリー

- **記録した画像はカードにコピーすることができます。(P80)**
- **容量:約84 MB**
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

## カード

本機ではSD規格に準拠した以下のカードが使用できます。(本書では、これらを**カード**と記載しています)

| | 備考 |
|---|---|
| SDメモリーカード(8 MB〜2 GB)/ miniSDカード※1/microSDカード※1 | ● **動画撮影の際は、SD スピードクラス※2 が「Class6」以上のカードを使用してください。** ● SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカード対応機器で使用できます。 ● SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。 ● SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/ ● 左記の容量以外のカードは使えません。 |
| SDHCメモリーカード(4 GB〜32 GB)/ microSDHCカード※1 | |
| SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB) | |

※1 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。
※2 SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

(例) CLASS6 

- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  **http://panasonic.jp/support/dsc/**

### お知らせ

- **アクセス表示点灯中(画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など)は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売:DMW-AC5)を取り外さないでください。**
  **また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。**
  **カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。**
  **振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。**
- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。
- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをおすすめします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P35)

書き込み禁止スイッチ

# 内蔵メモリー/カードについて（つづき）

## 記録可能枚数・時間の目安

### ■ 記録可能枚数・時間の表示について

- 記録可能枚数・時間は目安です。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
- 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。

記録可能枚数

写真撮影時

記録可能時間

動画撮影時

### ■ 記録可能枚数（写真：枚）

- 残り枚数が 100000枚以上の場合は、[+99999] と表示されます。

| 記録画素数 | 内蔵メモリー（約 84 MB） | 2 GB | 32 GB | 64 GB |
|---|---|---|---|---|
| 16M(4:3) | 12 | 300 | 4910 | 9880 |
| 5M(4:3) | 28 | 650 | 10620 | 21490 |
| 0.3M(4:3) | 440 | 10050 | 162960 | 247160 |

### ■ 記録可能時間（動画撮影時）（h：時間、m：分、s：秒）

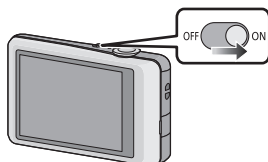
| 画質設定 | 内蔵メモリー（約 84 MB） | 2 GB | 32 GB | 64 GB |
|---|---|---|---|---|
| HD | ― | 10m10s | 2h47m | 5h39m |
| VGA | ― | 21m40s | 5h54m | 11h56m |
| QVGA | 2m45s | 1h2m | 16h59m | 34h21m |

お知らせ

- [WEBアップロード設定]を行うと、カードの記録可能枚数・時間が減少することがあります。
- 動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。
  画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

# 時計を設定する

- お買い上げ時は、時計設定されていません。

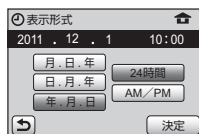
## 1 電源スイッチを[ON]にする

## 2 [時計設定]をタッチする

## 3 合わせたい項目（年・月・日・時・分）をタッチして、[▲]/[▼]で設定する

- [▲]/[▼]をタッチしたままにすると、連続して設定内容を切り換えることができます。
- [ ]をタッチすると、時計を設定せずに中止することができます。

:ホームの時間
:旅行先の時間

**[表示順・時刻表示形式]を設定する場合**

- [表示形式]をタッチすると、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。

## 4 [決定]をタッチして決定する

## 5 確認画面で[決定]をタッチする

## 時計設定を変更する

**撮影メニューまたはセットアップメニューの[時計設定]を選んでください。(P29)**

- 上記の手順**3**、**4** の操作で変更できます。
- **バッテリーなしでも約3ヵ月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。（内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に 24 時間入れてください）**

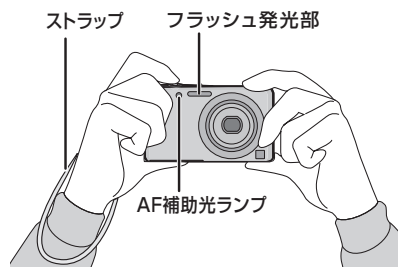
### お知らせ

- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや[日付焼き込み]、[文字焼き込み]を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
- 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

準備

# 本機の構えかたについて

## ストラップを取り付けて正しく構える

- **落下防止のため、必ず付属のストラップを取り付け、手首にとおしてご使用ください。(P8)**
- 両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構えてください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカー、レンズ部などに指がかからないようにしてください。

### ■ 縦位置検出機能について ([回転表示])

本機を縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。([回転表示](P34)設定時)

- 本機を縦に構えた状態で、上に向けたり下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

## 手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[((📷))]が表示されたときは、手ブレ補正(P65)、三脚、セルフタイマー(P56)などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
  - ・シーンモードの [パノラマアシスト]/[夜景&人物]/[夜景]/[パーティー]/[キャンドル ]/[星空]/[花火]/[ハイダイナミック]

# 撮影モードを選ぶ

## 1 撮影状態で[◀📷]をタッチする

- 再生モードから操作するときは、[📷]をタッチして撮影モードに切り換えてから[◀📷]をタッチしてください。

## 2 撮影モードアイコンをタッチする

## 撮影モード一覧

**iA インテリジェントオートモード** P20

カメラにおまかせで撮影します。

**📷 通常撮影モード** P22

お好みの設定で撮影します。

**コスメティックモード** P41

肌の質感を調整して撮影します。

**MS マイシーンモード** P42

あらかじめ登録した撮影シーンで撮影します。

**SCN シーンモード** P42

撮影シーンに合わせて撮影します。

**動画撮影モード** P26

音声付き動画を撮影します。

**お知らせ**

- 再生モードから撮影モードに切り換えたときは、前回設定した撮影モードになります。

# カメラにおまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）

撮影モード：iA

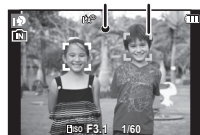
被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラまかせで気軽に撮りたいときや初心者におすすめです。

- 以下の機能が自動的に働きます。
  - ・自動シーン判別/手ブレ補正/インテリジェントISO/顔認識/暗部補正/逆光補正/デジタル赤目補正/超解像/iA ズーム/オートホワイトバランス/AF補助光

## 1 撮影状態で[ ]をタッチする

## 2 [iA]をタッチする

## 3 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAF エリアが表示されます。
- ズーム倍率により最至近距離（もっとも被写体に近づける距離）は変わります。画面の撮影可能範囲表示で確認してください。（P23）
- 被写体をタッチすると追尾 AF 機能が働きます。詳しくは 60ページをお読みください。

## 4 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

## 設定を変更する

インテリジェントオートモードでは以下のメニューを設定できます。

| メニュー | 項目 |
|---|---|
| 撮影 | [フラッシュ]※/[セルフタイマー]/[記録画素数]※/[連写]/[カラーモード]※ |
| セットアップ | [時計設定]/[ワールドタイム]/[操作音]※/[手ブレ補正デモ] |

- メニューの設定方法については29ページをお読みください。

※他の撮影モードと設定できる内容が異なります。

- **インテリジェントオートモード独自のメニューについて**
  - ・[カラーモード]で[Happy] の色彩効果を設定できます。自動で色の明るさと鮮やかさが引き立った画像を撮影できます。

## ■ フラッシュについて

- [i⚡A]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]、[i⚡S]になります。
- [i⚡A◎]、[i⚡S◎]のときは、デジタル赤目補正が働きます。
- [i⚡S◎]、[i⚡S]のときは、シャッタースピードが遅くなります。

# 自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

iA →

| | | |
|---|---|---|
| i人物 | i風景 | iマクロ |
| i 夜景& 人物<br>・[i⚡A]選択時のみ | i夜景 | i夕焼け |

- どのシーンにもあてはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- [ ]、[ ]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。**(顔認識)**
- [ ]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは最大8秒となります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。

**お知らせ**

- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  - ・被写体条件
    顔の明暗/被写体の大きさ・色/被写体までの距離/被写体の濃淡/ 被写体が動いているとき
  - ・撮影条件
    夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレが発生したとき/ズーム倍率
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをおすすめします。
- **逆光補正について**
  - ・逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。本機では、逆光補正が自動で働きます。

# お好みの設定で撮る（[カメラアイコン]：通常撮影モード）

撮影モード：[カメラアイコン]

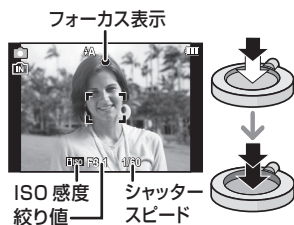
被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

**1** 撮影状態で [[アイコン]] をタッチする

**2** [[カメラアイコン]] をタッチする

**3** ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

**4** シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

● 適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードが赤くなります。（フラッシュ発光時を除く）

# ピントの合わせかた

被写体をAFエリアに合わせて、シャッターボタンを半押しする

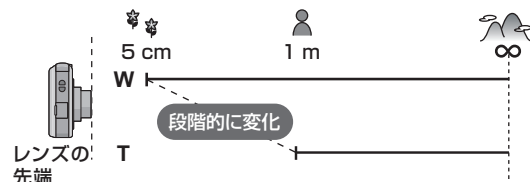
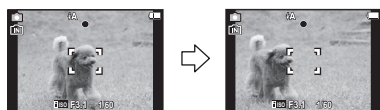
| ピント | 合っている | 合っていない |
|---|---|---|
| フォーカス表示 | 点灯 | 点滅 |
| AFエリア | 白→緑 | 白→赤 |
| 音 | ピピッ | ピピピピッ |

● デジタルズーム時や暗いとき、AFエリアは大きく表示されます。

## ■ ピントの合う範囲について

**ズーム操作時に撮影可能範囲(ピントの合う範囲)が表示されます。**

● シャッターボタン半押し時に、ピントが合っていないと撮影可能範囲表示が赤く表示されます。

撮影可能範囲はズーム位置によって段階的に変化する場合があります。

1 被写体にAFエリアを合わせ、**シャッターボタンを半押しし**、ピントと露出を固定する
2 **シャッターボタンを半押ししたまま**、撮りたい構図に本機を動かし、撮影する

● 手順 **1** の操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

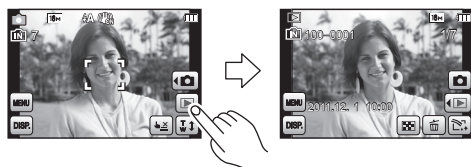
## ■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの/
ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき/暗いときや手ブレしているとき/
被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

# 写真を見る（通常再生）

再生モード：[▶]

## 撮影状態で[[▶]]をタッチする

● 通常再生に切り換わります。

### お知らせ

● 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
● 他機で撮影された写真は本機で再生できない場合があります。
● 撮影モードから再生モードに切り換えると、約15秒後にレンズ鏡筒が収納されます。

### 画像を送る

## 画面を水平にドラッグ（P9）する

・次の画像へ送る：右から左にドラッグ
・前の画像に戻す：左から右にドラッグ

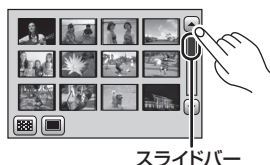
● 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。
● 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。（画像は縮小して表示されます）

## 複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

### [ ] をタッチする

- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。

·[ ]：1画面　　·[ ]：12画面
·[ ]：30 画面　　·[CAL]：カレンダー検索

- スライドバーに[▲]/[▼]が表示されている場合は、タッチして画面を切り換えてください。
- スライドバーを上下にドラッグ（P9）すると、画面を切り換えることができます。
- 画面を上下にドラッグ（P9）すると、少しずつ画像を切り換えることができます。
- [[!]]と表示される画像は再生できません。

## 再生画面を拡大する（再生ズーム）

### 拡大したい部分をしっかりとタッチする

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

- ズームレバーを回しても画像を拡大/縮小することができます。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置表示が表示されます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- 画面をドラッグ（P9）すると、拡大部分を移動することができます。
- [×1.0]をタッチすると、元の大きさ（1倍）に戻ります。
- [ ]をタッチすると、倍率は小さくなります。

基本

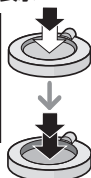
# 動画を撮る（[動画アイコン]：動画撮影モード）

撮影モード：[動画アイコン]

**1** 撮影状態で [[◀︎カメラ]] をタッチする

**2** [[動画アイコン]] をタッチする

**3** シャッターボタンを半押しして ピントを合わせ、全押しして撮影を開始する

- シャッターボタンを全押ししたあと、すぐに離してください。
- ピント･ズームは、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定に固定されます。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点滅します。

**4** シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

お知らせ

- 動画撮影の際は、SD スピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。
- 液晶モニターに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画撮影モードでは、以下の機能が自動的に働きます。
  ･[ オートフォーカスモード ] の [[アイコン]]/[ 手ブレ補正 ]
- 動画撮影モードでは、[デジタルズーム]または[AF補助光]の設定はできません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。
- **本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。**
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプター（別売：DMW-AC5）および DC カプラー（別売：DMW-DCC10）の使用をおすすめします。
- AC アダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電や AC アダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。
- 動画撮影中にボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。

# 動画を見る

再生モード：[▶]

## 再生状態で動画アイコン([QVGA]など)が付いた画像を選び、画面中央の[▶]をタッチして再生する

動画アイコン　動画記録時間

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。
  例)8分30秒のとき:8m30s

### ■ 動画再生中の操作

**1　画面をタッチしてコントロールパネルを表示する**

- 約2 秒間何も操作しないと元の状態に戻ります。

**2　コントロールパネルをタッチして操作する**

| | | | |
|---|---|---|---|
| [▶/II] | 再生/一時停止 | [■] | 停止 |
| [◀◀] | 早戻し再生 | [▶▶] | 早送り再生 |
| [◀II] | コマ戻し(一時停止中) | [II▶] | コマ送り(一時停止中) |
| [+] | 音量上げる | [−] | 音量下げる |

- **早送り/早戻し再生について**
  - ・再生中に[▶▶]をタッチすると早送り再生([◀◀]をタッチすると早戻し再生)になります。もう一度[▶▶]/[◀◀]をタッチすると、早送り/早戻し速度が速くなります。(画面表示が[▶▶]から[▶▶▶]に変わります)
  - ・[▶/II]をタッチすると、通常再生に戻ります。
  - ・大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。

**お知らせ**

- 本機で再生できる動画のファイル形式は QuickTime Motion JPEGです。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合は CD-ROM(付属)のソフトウェア「QuickTime」または「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。
- 他機で撮影された動画は本機で再生できない場合があります。
- 再生時は、本機底面部のスピーカーをふさがないようにお気をつけください。

# 画像を消去する

再生モード：[▶]

**画像は一度消去すると元に戻すことができません。**

● 内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が消去されます。

## 1枚消去

### 1 消去する画像を選び、[🗑]をタッチする

### 2 [1枚消去]をタッチする

● 確認画面が表示されます。
[はい]を選ぶと消去されます。

## 複数消去(50枚まで)/全画像消去

### 1 [🗑]をタッチする

### 2 [複数消去]または[全画像消去]をタッチする

● [全画像消去]→確認画面が表示されます。
[はい]を選ぶと消去されます。

● [全画像消去]選択時、[★以外全消去]を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

### 3 ([複数消去]選択時)消去したい画像をタッチする(繰り返す)

● 設定した画像に[🗑]が表示されます。
もう一度タッチすると設定が解除されます。

### 4 ([複数消去]選択時)[実行]をタッチする

● 確認画面が表示されます。
[はい]を選ぶと消去されます。

**お知らせ**

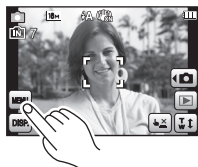
● 消去中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)およびDCカプラー(別売:DMW-DCC10)を使用してください。
● 消去枚数により、時間がかかることがあります。
● DCF規格外または[プロテクト]設定された画像の場合は、[全画像消去]または[★以外全消去]をしても消去されません。

# メニューを使って設定する

お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。
特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

## メニューの設定方法

例）撮影メニューで、[オートフォーカスモード]を[■]（1 点）から[ ]（顔認識）に設定する

### [MENU] をタッチする

### 2 メニューアイコンをタッチする

| メニュー | 内容 |
|---|---|
| **撮影（P53～66）<br>（撮影モードのみ）** | 色合いや感度、画素数などをお好みで設定できます。 |
| **再生（P71～80）<br>（再生モードのみ）** | 画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。 |
| **セットアップ（P32～35）** | 時計の設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。<br>セットアップメニューは撮影モード時、再生モード時のどちらからでも設定できます。 |

# メニューを使って設定する（つづき）

## 3 メニュー項目をタッチする

● [◁]/[▷]をタッチすると、ページを切り換えることができます。

## 4 設定内容をタッチする

● メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされかたが異なるものがあります。

手順**3**、**4**で、メニュー項目/設定内容のアイコンを長めにタッチすると、説明文が表示されます。
・そのまま指を離すと、決定されます。
・タッチしたままアイコンのない位置に指を動かしてから離すと、決定されません。

## ■ メニューを終了する

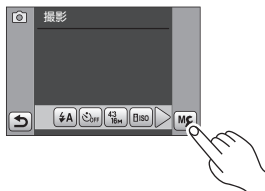
**[↩] を数回タッチする、またはシャッターボタンを半押しする**

### お知らせ

● 本機では仕様上、お使いの状況により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

## よく使うメニューを簡単に呼び出す（ショートカット設定）

お好みのメニュー項目を液晶モニターに表示させておくことができます。
撮影/再生モードごとに、よく使うメニュー項目を2つまで登録しておくことができます。
- 撮影メニューについては 53 ページ、再生メニューについては 71 ページをお読みください。

### 1 メニュー項目の選択画面で[MF]をタッチする

### 2 登録したいメニュー項目をショートカット設定エリアへドラッグする

- 登録されたメニュー項目が表示されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

### ■ 項目の入れ換えおよび解除について

- 手順**2**で、登録したいメニュー項目をすでに設定されている項目へドラッグしてください。
  項目を入れ換えることができます。
- 手順**2**で、登録した項目をショートカット設定エリアの外へドラッグすると登録が解除され、
  空き項目になります。

### お知らせ

- セットアップメニューは設定できません。
- 撮影モードによっては、登録しても使用できない項目があります。

# セットアップメニューを使う

[時計設定]、[スリープモード]、[オートレビュー]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

| 項目 | 設定・お知らせ |
| --- | --- |
| **時計設定** | ● 詳しくは、17ページをお読みください。 |
| **ワールドタイム** | [**旅行先**]：旅行先の地域<br>[**ホーム**]：お住まいの地域<br>● 詳しくは、51ページをお読みください。 |
| **トラベル日付** | [**トラベル日付設定**]：[**設定**]、[**OFF**]<br>[**旅行先**]：[**設定**]、[**OFF**]<br>● 詳しくは、49ページをお読みください。 |
| **操作音**<br>操作音やシャッター音を設定します。 | [**操作音音量**]：[ ]：小　[ ]：大　[ ]：なし<br>[**シャッター音音量**]：[ ]：小　[ ]：大　[ ]：なし<br>[**操作音音色**]：[**❶**]、[**❷**]、[**❸**]<br>[**シャッター音音色**]：[**❶**]、[**❷**]、[**❸**] |
| **スピーカー音量**<br>スピーカーの音量を7段階に調整します。 | ● テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。 |
| **液晶モード**<br>屋外などの明るい場所で液晶モニターが見にくいときに見やすくします。 | [**(オートパワーLCD)**] ※：周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。<br>[**(パワーLCD)**]：液晶モニターが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。<br>[**OFF**]<br>※撮影モード時のみ設定できます。<br>● 液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。<br>● [パワーLCD]の液晶モニターの画面は、撮影時、30秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。ボタンまたはタッチ操作で、再び明るく点灯します。<br>● [液晶モード]設定時は記録可能枚数が減少します。 |

| 項目 | 設定・お知らせ |
| --- | --- |
| **フォーカスアイコン**<br>フォーカスアイコンを変更します。 | [ ● ]、[ ]、[ ]、[ ]、[ ]、[ ] |
| **スリープモード**<br>設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。 | [2分]、[5分]、[10分]、[OFF]<br>●[スリープモード]を解除する場合は、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを[OFF]にしてからもう一度[ON]にしてください。<br>●インテリジェントオートモード時は、[スリープモード]は[5分]に固定されます。<br>●以下の場合、[スリープモード]は働きません。<br>・AC アダプター使用時　・パソコンまたはプリンター接続時<br>・動画撮影 / 動画再生時　・スライドショー時<br>・自動デモ |
| **オートレビュー**<br>撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。 | [1SEC.]<br>[2SEC.]<br>[HOLD]：[終了]をタッチするまで表示<br>[OFF]<br>●シーンモードの[高速連写]、[フラッシュ連写]、撮影メニューの[連写]時は、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。<br>●インテリジェントオートモードまたはシーンモードの[フォトフレーム]時は[2秒]に固定されます。<br>●動画撮影モードでは働きません。 |

# セットアップメニューを使う（つづき）

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| 設定リセット<br><br>設定をお買い上げ時の状態に戻します。 | **撮影設定**<br>**セットアップ設定**<br><br>● 撮影時に撮影設定をリセットすると、レンズのリセット動作も同時に行います。レンズの動作音がしますが、異常ではありません。<br>● 撮影設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。<br>・マイシーンモードの登録設定<br>● セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。<br>・[ショートカット設定]<br>・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の誕生日設定、名前設定<br>・[トラベル日付]の設定内容（出発日、帰着日、旅行先）<br>・[ワールドタイム]の設定内容<br>● フォルダー番号、時計の設定は変わりません。 |
| 映像出力<br><br>各国のカラーテレビ方式やテレビの種類に合わせて設定します。 | **[ビデオ出力方式]※：**<br>[NTSC]： 日本やアメリカなど<br>[PAL]： ヨーロッパなど<br>**[TV画面タイプ]：**<br>[16:9]： 画面が16：9のテレビと接続時<br>[4:3]： 画面が4：3のテレビと接続時<br><br>※再生モード時のみ設定できます。<br><br>● AVケーブル接続時に働きます。 |
| 回転表示<br><br>本機を縦に構えて撮影した画像を縦向きに表示させることができます。 | [ ]： 回転して縦向きに表示します。<br>[ ]： テレビに接続して再生するときのみ、縦向きに表示します。<br>[OFF]<br><br>● 画像を再生する方法については、24ページをお読みください。<br>● パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです]<br>● 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。<br>● マルチ再生時は、回転表示されません。 |

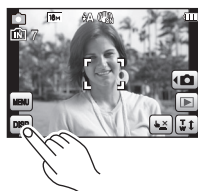
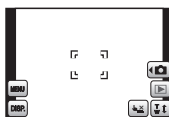
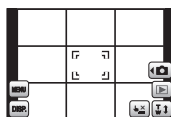
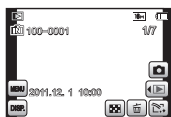
| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| Ver. **バージョン表示** | ●本体のファームウェアバージョンを確認できます。 |
| **フォーマット**<br><br>内蔵メモリーまたはカードをフォーマット(初期化)します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください。** | ●フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)およびDCカプラー(別売:DMW-DCC10)を使用し、フォーマット中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。<br>●カードが入っている場合はカードのみフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。<br>●他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。<br>●カードより内蔵メモリーの方がフォーマットに時間がかかる場合があります。<br>●フォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| **タッチパネル調整**<br><br>タッチしたものと違うものが選択されたり、タッチ操作が反応しなかった場合などに、タッチパネルの位置調整をします。 | **1 [開始]をタッチする**<br>**2 画面に表示されるオレンジ色の[+]マークを、タッチペン(付属)で順番にタッチする(5カ所)**<br>●位置調整が完了するとメッセージが表示されます。<br>**3 [終了]をタッチして終了する**<br>●正しい位置をタッチしなかった場合、タッチパネル調整は行われません。[+]マークをタッチし直してください。 |
| DEMO **デモモード**<br><br>[手ブレ補正デモ]や本機の特長を表示します。 | **[手ブレ補正デモ]**:カメラが感知した手ブレ量を表示<br>**[自動デモ]**:<br>**[ON]**: 本機の特長をスライドショーで表示<br>**[OFF]**<br>●[手ブレ補正デモ]中に[手ブレ補正]をタッチするごとに、手ブレ補正が ON と OFF に切り換わります。<br>●[手ブレ補正デモ]は目安です。<br>●[自動デモ]はテレビ出力されません。<br>手ブレ補正デモ<br>手ブレ量<br>ON<br>手ブレ補正<br>補正後の手ブレ量 |

# 液晶モニターの表示を切り換える

## [DISP.] をタッチして切り換える

- 再生ズーム時、動画再生中、スライドショー中は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

撮影時

再生時

※一定時間何も操作をしないと、以下のアイコンのみ表示されます。
撮影時：[ ]/[ ]/[DISP.]　再生時：[ ]/[DISP.]

### ■ ガイドライン表示について

撮影時、バランスなど構図の参考に使います。

- シーンモードの[フォトフレーム]では、ガイドラインは表示されません。

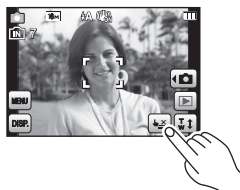
# タッチ操作で写真を撮る（タッチシャッター機能）

撮影モード：[iA][●][✎][MS][SCN]

ピントを合わせたい被写体にタッチするだけで、ピントを合わせて自動的にシャッターを切ります。

## 1 [ ] をタッチする

- アイコンが[ ]に変わり、タッチシャッター撮影が可能な状態になります。

[ ]：タッチシャッター操作可能
[ ]：タッチシャッター操作不可

## 2 ピントを合わせたい被写体をタッチする

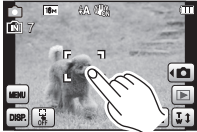
- タッチした場所にAFエリアが表示され、撮影されます。（画面の端には設定できません）

## 3 [ ] をタッチして、タッチシャッター機能を解除する

### お知らせ

- 液晶モニターの右上部分は、画像が映っていてもタッチ操作できません。
- タッチシャッターの設定は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。

# タッチ操作で狙った被写体にピントや露出を合わせる (タッチAF/AE)

撮影モード：[iA][●][ク][MS][SCN]

タッチパネルを使って、指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。
- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。

## 1 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- AFエリアは画面内の自由な位置に設定できます。(画面の端には設定できません)
- [オートフォーカスモード](P60)の設定で動作は異なります。
- インテリジェントオートモード時、タッチAF/AEは追尾AFに固定され、タッチした被写体に最適なシーンを判別します。

| オートフォーカスモード | タッチしたときの動作 |
|---|---|
| [顔](顔認識)/<br>[■](11点)/<br>[■](1点) | ● [顔](顔認識)では、タッチするとAFエリアが黄色になります。<br>● AF エリア[■](1 点)が表示されます。 |
| [追](追尾AF) | ● AFエリアが黄色になり被写体がロックされます。被写体の動きに合わせて自動で連続的にピントと露出を合わせます。(動体追尾)<br>● 詳しくは、60ページをお読みください。 |

- [OFF]をタッチすると、元のオートフォーカスモードに従います。

## 2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

### お知らせ

- 液晶モニターの右上部分は、画像が映っていてもタッチ操作できません。

# ズームを使って撮る

撮影モード：iA 📷 ✎ MS SCN 🎞

## 光学ズーム/EX光学ズーム(EZ)/iAズーム/デジタルズームで撮る

風景などを広く(広角)撮ったり人や物を大きく(望遠)撮ることができます。さらに大きく(最大 9倍)撮るには、10M 以下の記録画素数に設定してください。

大きく撮るには(望遠)

**ズームレバーをT側へ回す**

広く撮るには(広角)

**ズームレバーをW側へ回す**

### ■ ズームの種類

| 種類 | 光学ズーム | EX光学ズーム(EZ) |
|---|---|---|
| 最大倍率 | 4倍 | 9倍※ |
| 画質 | 劣化しない | 劣化しない |
| 条件 | なし | EZ 付きの記録画素数(P57)を選ぶ |
| 画面表示 | W T | EZ W T<br>EZを表示 |

| 種類 | iAズーム | デジタルズーム |
|---|---|---|
| 最大倍率 | 光学ズームまたはEX光学ズームの約1.3倍 | 光学ズーム、EX光学ズームまたはiAズームの4倍 |
| 画質 | ほとんど劣化しない | 拡大するほど劣化する |
| 条件 | 撮影メニューの[超解像](P63)を[iA ZOOM]に設定する | 撮影メニューの[デジタルズーム](P63)を[ON]に設定する |
| 画面表示 | iA ZOOM W T<br>EZ iA ZOOM W T<br>iA ZOOM を表示 | W T<br>EZ W T<br>iA ZOOM W T<br>EZ iA ZOOM W T<br>デジタルズーム領域を表示 |

**● ズーム時は、ズーム表示のバーと連動して撮影可能範囲の目安が表示されます。(例:0.5m−∞)**

※　記録画素数により変わります。

撮影

# ズームを使って撮る（つづき）

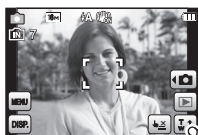
撮影モード：[iA][通常撮影][MS][SCN][動画]

## お知らせ

- ズーム倍率は目安です。
- EZとは「Ex. Optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。光学ズームより望遠効果の高い写真が撮影できます。
- ズーム位置によって、レンズ鏡筒が伸び縮みします。ズーム中に、レンズ鏡筒の動きを妨げないようにお気をつけください。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー(P56)を使って撮影することをおすすめします。
- 以下の場合、iAズームは使えません。
  - ・ズームマクロ撮影時
  - ・シーンモードの[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]
  - ・動画撮影モード
- 以下の場合、EX光学ズームは使えません。
  - ・ズームマクロ撮影時
  - ・シーンモードの[変身]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[フォトフレーム]
  - ・動画撮影モード
- 以下の場合、デジタルズームは使えません。
  - ・インテリジェントオートモード
  - ・シーンモードの[変身]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、[フォトフレーム]

## タッチ操作でズームを使う

### 1 [T/W]をタッチする

- 液晶モニターにズームアイコンが表示されます。

### 2 画面上のズームアイコンをタッチする

| | |
|---|---|
| [T] | 自動でズーム位置がT端まで移動します※ |
| [W] | 自動でズーム位置が W端まで移動します※ |
| [L] | ゆっくりズームする |
| [H] | 速くズームする |

※移動中にもう一度タッチすると、途中で停止します。

# 肌の質感を変えて撮る（: コスメティックモード）

撮影モード :

肌の質感や透明感を設定し撮影することができます。

## 1 撮影状態で[]をタッチする

## 2 []をタッチする

## 3 項目をタッチする

- [▲]/[▼]をタッチして透明感を設定してください。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 美白肌 | 美白肌で撮影したいとき |
| ナチュラル肌 | 肌本来の美しさを引き出したいとき |
| 褐色肌 | ビーチなどで健康的な褐色肌にしたいとき |

- 項目ごとに3段階の透明感を選べます。

## 4 [OK]をタッチする

撮影

### お知らせ

- 肌色が検出されないときは効果がありません。
- 設定は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- コスメティックモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、[ISO感度]、[マクロ撮影モード]、[暗部補正]、[超解像]、[カラーモード]の設定はできません。

# 撮影シーンに合わせて撮る（シーンモード）

撮影モード：MS SCN

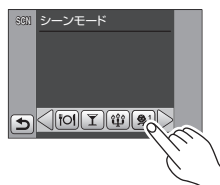
被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

## 毎回シーンモードを選ぶ（SCN：シーンモード）

**1** 撮影状態で[◀📷]をタッチする

**2** [SCN]をタッチする

**3** 設定したいシーンモードをタッチする

- [◁]/[▷]をタッチすると、ページを切り換えることができます。

### ■ シーンモードを変更する

1 [MENU]をタッチする
2 [SCN]をタッチする
3 設定したいシーンモードをタッチする

お知らせ

- シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、[ISO感度]、[マクロ撮影モード]、[暗部補正]、[超解像]、[カラーモード]の設定はできません。

## よく使うシーンモードを登録する（MS：マイシーンモード）

よく使うシーンモードを撮影モードのひとつとして登録できます。

**1** 撮影状態で[◀📷]をタッチする

**2** [MS]をタッチする

- 登録済みの場合は、[MS]ではなく、登録されているシーンモードのアイコンが表示されます。

**3** 設定したいシーンモードをタッチする

- [◁]/[▷]をタッチすると、ページを切り換えることができます。
- 選択したシーンモードはマイシーンモードとして登録され、次回撮影時は撮影モードから選択できるようになります。

### ■ マイシーンモードを変更する

1 [MENU]をタッチする
2 [SCN]をタッチする
3 設定したいシーンモードをタッチする

| 項目 | 設定・お知らせ |
| --- | --- |
| **人物**<br><br>昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に撮影できます。 | **撮影のテクニック**<br>●ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。 |
| **変身**<br><br>スリムもしくはグラマラスに撮影することができ、同時に肌をきれいに撮影することができます。 | **変身レベル設定**<br>変身のレベルを選択します。<br>●記録画素数は3M（4:3）、2.5M（3:2）、2M（16:9）、2.5M（1:1）に固定されます。<br>●公序良俗に反する目的やひぼう中傷目的で利用しないでください。 |
| **自分撮り**<br><br>自分を撮りたいときに合わせてください。 | **撮影のテクニック**<br>●シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと、セルフタイマーランプが点灯します。手ブレしないようにしっかりと構えて、シャッターボタンを全押ししてください。<br>●セルフタイマーランプが点滅しているときは、ピントが合っていませんので、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。<br>●シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいときは、2秒セルフタイマーの使用をおすすめします。 |
| **風景**<br><br>広がりのある風景を撮影できます。 | — |

# 撮影シーンに合わせて撮る（シーンモード）（つづき）

撮影モード：MS SCN

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>パノラマアシスト<br><br>パノラマ画像を作るのに適したつながりのある画像を撮影できます。</td><td>撮影する方向の設定<br>1 撮影する方向をタッチする<br>2 [OK]をタッチする<br>●水平/垂直ガイドが表示されます。<br>3 撮影する<br>●[撮り直し]を選ぶと、撮影をやり直すことができます。<br>4 [次の撮影]をタッチする<br>●撮影した画像の一部が透過画像として表示されます。<br>5 透過画像が重なるように構図を水平、または垂直に移動して撮影する<br>●3枚目以降を撮影するときは、手順4、5を繰り返してください。<br>6 [完了]をタッチする<br>DISP. 終了<br><br>●ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO感度は、1枚目の設定に固定されます。<br>●三脚の使用をおすすめします。暗いときは、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。<br>●シャッタースピードは最大 8 秒になります。<br>●撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約 8 秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。<br>●撮影した画像はCD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパノラマ画像に合成することができます。</td></tr>
<tr><td>スポーツ<br><br>スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。</td><td>●シャッタースピードは最大 1 秒になります。<br>●5 m以上離れた被写体の撮影に適しています。</td></tr>
<tr><td>夜景＆人物<br><br>人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。</td><td>撮影のテクニック<br>●フラッシュをお使いください。（[⚡S◎]に設定できます）<br>●被写体の人に、撮影中はなるべく動かないように伝えてください。<br><br>●三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。<br>●シャッタースピードは最大 8 秒になります。<br>●撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約8秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。<br>●暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。</td></tr>
<tr><td>夜景<br><br>夜景を鮮やかに撮影できます。</td><td>●三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。<br>●シャッタースピードは最大 8 秒になります。<br>●撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約8秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。<br>●暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。</td></tr>
</table>

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| **料理**<br><br>レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。 | — |
| **パーティー**<br><br>結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。 | **撮影のテクニック**<br>● **フラッシュをお使いください。([⚡◎]または[⚡S◎]に設定できます)**<br>● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。<br>● ズームをW端(広角)にして、被写体から約1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。 |
| **キャンドル**<br><br>ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。 | **撮影のテクニック**<br>● フラッシュを使わずに撮影すると、より効果的です。<br>● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。<br>● シャッタースピードは最大 1 秒になります。 |
| **赤ちゃん1/**<br>**赤ちゃん2**<br><br>赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。<br>[赤ちゃん1]と[赤ちゃん2]のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P72)で撮影画像に焼き込むことができます。 | **誕生日/名前を設定する**<br>**1　[月齢/年齢]または[名前]をタッチする**<br>**2　[設定]をタッチする**<br>**3　誕生日/名前を入力する**<br>誕生日：各項目をタッチして、[▲]/[▼]で年・月・日を設定し、[決定]をタッチする<br>名前：文字入力の方法については52ページの「文字を入力する」をお読みください。<br>● 誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。<br>● 誕生日/名前が登録されていない場合に[ON]にすると、自動的に設定画面が表示されます。<br>**4　[終了]をタッチして終了する**<br><br>**月齢 / 年齢や名前の表示を解除するには**<br>手順**2** で[OFF]に設定してください。<br><br>● CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って月齢/ 年齢や名前をプリントすることができます。<br>● 誕生日や名前を設定していても[月齢/年齢]または[名前]を[OFF]にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。<br>● シャッタースピードは最大 1 秒になります。 |

# 撮影シーンに合わせて撮る（シーンモード）（つづき）

撮影モード：MS SCN

| 項目 | 設定・お知らせ |
| --- | --- |
| **ペット**<br><br>犬や猫などのペットを撮りたいときに合わせてください。ペットの誕生日や名前を設定できます。 | [月齢/年齢]、[名前]については、45 ページの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。 |
| **夕焼け**<br><br>夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。 | — |
| **高感度**<br><br>薄暗い室内で被写体のブレをおさえて撮影できます。 | **記録画素数設定**<br>記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。 |
| **高速連写**<br><br>高速連写により、すばやい動きや決定的瞬間を狙うのに便利です。 | **記録画素数設定**<br>記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。<br>●シャッターボタンを全押ししている間、写真を連続して撮影します。<br>最高連写速度：約 4.4コマ/秒<br>連写コマ数：　約15コマ(内蔵メモリー)、<br>約15コマ～100 コマ※(カード)<br>※最大 100 コマです。<br>●連写速度は、撮影条件によって変化します。<br>●連写コマ数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。<br>●書き込み速度の速いカードを使用したり、カードをフォーマットしたりすると、連写コマ数が増加する場合があります。<br>●ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO感度は、1コマ目の設定に固定されます。<br>●[ISO感度]は、自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO感度は高めになります。<br>●撮影を繰り返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。 |

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>フラッシュ連写<br><br>フラッシュ発光しながら連写します。暗い場所で連写撮影をしたいときに便利です。</td><td>記録画素数設定<br>記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。<br>●シャッターボタンを全押ししている間、写真を連続して撮影します。<br>連写コマ数:最大 5 コマ<br>●ピント・ズーム・露出・シャッタースピード・ISO感度・フラッシュ発光量は、1コマ目の設定に固定されます。<br>●セルフタイマー使用時、撮影コマ数は5コマに固定されます。</td></tr>
<tr><td>星空<br><br>星空や暗い被写体を鮮明に撮影できます。</td><td>シャッタースピード設定<br>シャッタースピードを15秒、30秒、60秒から選択します。<br>●シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。<br>カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。<br>撮影のテクニック<br>● 15秒、30秒、60秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。</td></tr>
<tr><td>花火<br><br>夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。</td><td>撮影のテクニック<br>●シャッタースピードが遅くなるため、三脚の使用をおすすめします。<br>●被写体までの距離が 10 m以上のときに最適です。<br>●シャッタースピードは 1/4秒または2秒に固定されます。<br>●露出補正をすると、シャッタースピードを変えることができます。<br>●AFエリアは表示されません。</td></tr>
<tr><td>ビーチ<br><br>海や空などの青色をより鮮やかにし、強い太陽の下でも人物を暗くせずに撮影できます。</td><td>●ぬれた手で触らないでください。</td></tr>
</table>

# 撮影シーンに合わせて撮る（シーンモード）（つづき）

撮影モード：MS SCN

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| 雪<br><br>スキー場や雪山などの白い雪を白く出すように撮影できます。 | ― |
| **空撮**<br><br>飛行機の中から窓越しの景色を撮影するときに最適です。 | **撮影のテクニック**<br>●雲などを撮影する際に、ピントが合いにくい場合は、コントラスト（濃淡）の高いところで半押ししてピントを合わせ、ピントが合った状態のまま、撮りたい被写体に向けて全押しして撮影することをおすすめします。 |
| **ピンホール**<br><br>被写体の周辺を暗くし、ソフトフォーカスで撮影できます。 | ●画面周辺の暗い部分では、顔認識機能が正常に働かない場合があります。 |
| **サンドブラスト**<br><br>砂を吹きつけたようなざらざらとした感じの白黒画像を撮影できます。 | ― |
| **ハイダイナミック**<br><br>逆光の風景や夜景などのシーンで、暗いところから明るいところまで適度な明るさで表現した写真を簡単に撮影することができます。 | **効果の設定**<br>**[STD.]**：自然な色合いの効果<br>**[ART]**：コントラストと色を強調した印象的な効果<br>**[B&W]**：白黒の効果<br>●撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。<br>●暗いときは、三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。<br>●シャッタースピードは最大8秒になります。<br>●撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約8秒）になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。<br>●暗い部分を明るく補正するため、通常撮影よりも液晶画面のノイズが目立つ場合があります。 |
| **フォトフレーム**<br><br>画像にフレームをつけて撮影します。 | **フレームの設定**<br>3 種類のフレームから選択します。<br>●記録画素数は5M（4:3）に固定されます。<br>●画面に表示されるフレームの色と、実際に撮影される画像のフレームの色は異なりますが、故障ではありません。 |

# 旅行先で便利な機能（トラベル日付/ワールドタイム）

撮影モード: iA MS SCN

## 旅行の経過日数や旅行先を記録する（トラベル日付）

旅行の出発日や旅行先を設定しておくと、撮影時に旅行の経過日数（何日目か）などが記録されます。記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P72）で撮影画像に焼き込むことができます。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。
- **あらかじめ [時計設定]（P17）で、現在の時刻を合わせておいてください。**

**1** セットアップメニューから [トラベル日付] を選ぶ（P29）

**2** [トラベル日付設定] をタッチする

**3** [設定] をタッチする

**4** 年・月・日をタッチして[▲]/[▼]で出発日を設定し、[決定] をタッチする

**5** 年・月・日をタッチして[▲]/[▼]で帰着日を設定し、[決定] をタッチする

**6** [旅行先] をタッチする

**7** [設定] をタッチする

**8** 旅行先を入力する

- 文字入力の方法については、52 ページの「文字を入力する」をお読みください。
- 設定後はメニューを終了してください。

# 旅行先で便利な機能（トラベル日付/ワールドタイム）（つづき）

撮影モード：iA ● 📷 MS SCN 🎞

## ■ トラベル日付を解除するには

現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。途中で解除したい場合は、手順**3**の画面で[OFF]を選んでください。[トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。
[旅行先]の記録だけを解除したい場合は、手順**7**の画面で[OFF]を選んでください。

### お知らせ

- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- 設定したトラベル日付は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- トラベル日付を[OFF]に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後にトラベル日付を[設定]にしても表示されません。
- 出発日より前は、日付情報は記録されません。
- 動画撮影の際、[旅行先]は記録できません。
- インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。

## 海外旅行先の日時を記録する(ワールドタイム)

旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。

● **あらかじめ[時計設定](P17)で、現在の時刻を合わせておいてください。**

### 1 セットアップメニューから[ワールドタイム]を選ぶ(P29)

● お買い上げ時はメッセージが表示されます。
　[設定]をタッチして、手順**3**の画面から設定してください。

### 2 [ホーム](お住まいの地域)をタッチする

### 3 [◁]/[▷]でお住まいの地域を選び、[決定]をタッチする

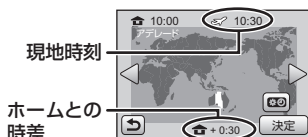
● ホームがサマータイム[⚙◴](夏時間)を採用している場合は、[⚙◴]をタッチしてください。(時計が1時間進みます)もう一度タッチすると元に戻ります。

現在時刻
GMT(グリニッジ標準時)との時差

### 4 [旅行先]をタッチする

### 5 [◁]/[▷]で旅行先のあるエリアを選び、[決定]をタッチする

● 旅行先がサマータイム[⚙◴](夏時間)を採用している場合は、[⚙◴]をタッチしてください。(時計が1時間進みます)もう一度タッチすると元に戻ります。

● 設定後はメニューを終了してください。

**お知らせ**

● 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

● 旅行先で撮影された画像には、再生時、画面に[✈]が表示されます。

撮影

# 文字を入力する

撮影時に、赤ちゃんやペットの名前、旅行先を入力しておくことができます。(ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます)
指で操作しにくい場合は、タッチペン(付属)をお使いください。

## 1 入力画面を表示する

- 入力画面は以下の操作から表示できます。
  - ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[名前](P45)
  - ・[トラベル日付]の[旅行先](P49)

## 2 文字を入力する

- [切換]をタッチすると、かな(ひらがな)、カナ(カタカナ)、A/a(アルファベット)、1(数字)、&(記号)に文字を切り換えることができます。
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、[▶]をタッチしてカーソルを移動してください。

- 項目をタッチすると、以下の操作が行えます。

| | |
|---|---|
| ・[␣]: | 空白を入力 |
| ・[消去]: | 文字を消去 |
| ・[◀]: | 入力位置を左に移動 |
| ・[▶]: | 入力位置を右に移動 |

- 入力できる文字数は以下のとおりです。

| | |
|---|---|
| ・かな/カナ: | 最大15文字 |
| ・A/a/1/&※: | 最大30文字 |

※[＼]、[「]、[」]、[・]、[—]は最大15文字です。

## 3 [決定]をタッチする

| 文字入力例 |
|---|
| 「パリ」と入力する場合: |
| ❶ [切換]をタッチし、カナに切り換える |
| ❷ 「ハ」をタッチする |
| ❸ 「゛゜」を2回タッチし、「パ」にする |
| ❹ 「ラ」を2回タッチする |
| ❺ [決定]をタッチする |

### お知らせ

- 入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。

# 撮影メニューを使う

撮影メニューの設定方法はP29へ

## フラッシュ

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

■ 使えるモード：iA 📷 MS SCN

■ 設定

| | |
|---|---|
| **A: オート** | 撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。 |
| **A◎: 赤目軽減オート※** | 撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。<br>● **暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。** |
| **: 強制発光**<br>**◎: 赤目軽減強制発光※** | フラッシュを強制的に発光させます。<br>● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。** |
| **S◎:**<br>**赤目軽減スローシンクロ※** | フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 |
| **: 発光禁止** | どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。<br>● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。** |

**※フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。**

# 撮影メニューを使う（つづき）

## ■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

（○：設定可、×：設定不可、◎：シーンモード初期設定）

| | ⚡A | ⚡A◉ | ⚡ | ⚡◉ | ⚡S◉ | ⊘ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| iA | ○※ | × | × | × | × | ○ |
| | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ |
| | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ |
| | ○ | ◎ | ○ | × | × | ○ |
| | ○ | ◎ | ○ | × | × | ○ |
| | ○ | ◎ | ○ | × | × | ○ |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | ◎ | × | ○ | × | × | ○ |
| | × | × | × | × | ◎ | ○ |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | ○ | × | ○ | × | × | ◎ |
| | × | × | × | ○ | ◎ | ○ |
| | × | × | × | ○ | ○ | ◎ |
| 1 | ○ | ◎ | ○ | × | × | ○ |
| 2 | ○ | ◎ | ○ | × | × | ○ |

| | ⚡A | ⚡A◉ | ⚡ | ⚡◉ | ⚡S◉ | ⊘ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | ○ | × | ○ | × | × | ◎ |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | ○ | × | ○ | × | × | ◎ |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | × | × | ◎ | × | × | × |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | × | × | ◎ | × | × | ○ |
| | ◎ | × | ○ | × | × | ○ |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | ◎ | × | ○ | × | × | ○ |
| | ◎ | × | ○ | × | × | ○ |
| | × | × | × | × | ○ | ◎ |
| | ◎ | ○ | ○ | × | × | ○ |
| | × | × | × | × | × | ○ |

※[i⚡A]と表示されます。

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定はモードを変更するたびに初期設定に戻ります。

## ■ フラッシュ撮影可能範囲

| | W端時 | T端時 |
|---|---|---|
| ISO感度 [iISO] 設定時 | 約40 cm～約3.3 m | 約1.0 m～約1.6 m |

## ■ フラッシュモード別のシャッタースピード

| フラッシュモード | シャッタースピード |
|---|---|
| ⚡A | 1/60～1/1600秒 |
| ⚡A◎ | |
| ⚡<br>⚡◎ | |

| フラッシュモード | シャッタースピード |
|---|---|
| ⚡S◎ | 1または1/8～1/1600秒※1<br>1または1/4～1/1600秒※2 |
| (発光禁止) | |

※1 [手ブレ補正]の設定によって変わります。
※2 [ISO感度]の[iISO]設定時

- ※1、2でシャッタースピードが最大1秒になるのは、以下の場合です。
  - ・[手ブレ補正]が[OFF]のとき
  - ・[手ブレ補正]設定時に、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき
- インテリジェントオートモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。
- シーンモード時のシャッタースピードは上表と異なります。

### お知らせ

- フラッシュに物を近づけると熱や光で変形、変色する場合があります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンモードの[フラッシュ連写]やシャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

# 撮影メニューを使う（つづき）

## セルフタイマー

タイマーを使って写真を撮影できます。

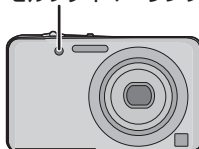
■ **使えるモード:**

■ **設定**

| | |
|---|---|
| [10]（10秒） | 10秒後に撮影します。<br>●シーンモードの[自分撮り]時は10秒に設定できません。 |
| [2]（2秒） | 2秒後に撮影します。<br>●三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。 |
| [OFF] | — |

●シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影してください。セルフタイマーランプが点滅し、10秒（または2秒）後に撮影動作が開始されます。

### お知らせ

●一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。
このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのためにAF補助光として明るく点灯することがあります。
●セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
●シーンモードの[高速連写]時は、セルフタイマーの設定はできません。

## 記録画素数

記録画素数を設定します。
画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

■ 使えるモード: iA 📷 MS SCN
■ 設定

| | |
|---|---|
| 4:3 16M | 4608×3456画素 |
| 4:3 EZ ※ 10M | 3648×2736画素 |
| 4:3 EZ 5M | 2560×1920画素 |
| 4:3 EZ ※ 3M | 2048×1536画素 |
| 4:3 EZ 0.3M | 640×480画素 |
| 3:2 14M | 4608×3072画素 |
| 16:9 12M | 4608×2592画素 |
| 1:1 12M | 3456×3456画素 |

※ インテリジェントオートモード時は設定できません。

[4:3]: 4:3テレビの横縦比
[3:2]: 一般のフィルムカメラの横縦比
[16:9]: ハイビジョンテレビなどの横縦比
[1:1]: 正方形横縦比

### お知らせ

- [ズームマクロ]設定時またはシーンモードの[変身]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[フォトフレーム]では、EX光学ズームが働きませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。

## 画質設定(動画撮影モード)

記録する動画の画質を設定します。

■ 使えるモード: 🎞
■ 設定

| 項目 | 記録画素数 | コマ数 | 画像横縦比 |
|---|---|---|---|
| HD ※ | 1280×720画素 | 24コマ/秒 | 16:9 |
| VGA ※ | 640×480画素 | 30コマ/秒 | 4:3 |
| QVGA | 320×240画素 | | |

※内蔵メモリーには記録できません。

# 撮影メニューを使う（つづき）

## ISO ISO感度

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

■ 使えるモード: [📷]

■ 設定: [iISO]、[ISO100]、[ISO200]、[ISO400]、[ISO800]、[ISO1600]

| | [ISO100] | [ISO1600] |
|---|---|---|
| 撮影場所(おすすめ) | 明るいとき(屋外) | 暗いとき |
| シャッタースピード | 遅くなる | 速くなる |
| ノイズ | 少ない | 多い |
| 被写体ブレ | 多い | 少ない |

| ISO感度 | 設定内容 |
|---|---|
| iISO 最大[ISO1600]<br>(インテリジェント) | 被写体の動きと明るさに応じて、ISO感度を調整します。 |
| 100/200/400/800/1600 | それぞれのISO感度に固定します。 |

### ■ iISO(インテリジェントISO感度コントロール)とは

被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレをおさえます。

- シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。

**お知らせ**

- [iISO]設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、55ページをお読みください。

## WB ホワイトバランス

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

■ 使えるモード: [📷][🎨][MS][SCN][🎞]

■ 設定

| | |
|---|---|
| [AWB] | 自動調整 |
| [☼] | 晴天の屋外での撮影時 |
| [☁] | 曇りの屋外での撮影時 |
| [⌂] | 屋外の晴天下の日陰での撮影時 |
| [白熱灯] | 白熱灯下での撮影時 |
| [手動] | [手動SET]で設定した値を使用 |

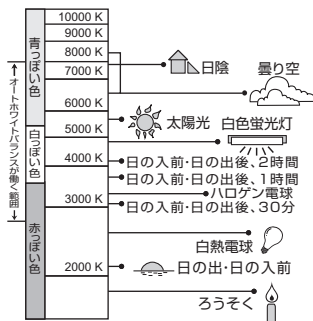
## 撮影メニューの設定方法はP29へ

### お知らせ

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[SET]をご使用ください。
- 電源スイッチを[OFF]にしても設定したホワイトバランスは記憶されます。（シーンモードを変更すると、ホワイトバランスは[AWB]に戻ります）
- 以下のシーンモードでは、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。

| | | |
|---|---|---|
| ･[風景] | ･[夜景&人物] | ･[夜景] |
| ･[料理] | ･[パーティー] | ･[キャンドル] |
| ･[夕焼け] | ･[フラッシュ連写] | ･[星空] |
| ･[花火] | ･[ビーチ] | ･[雪] |
| ･[空撮] | ･[サンドブラスト] | |

## ■ オートホワイトバランスについて

撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。

## 手動でホワイトバランスを設定する

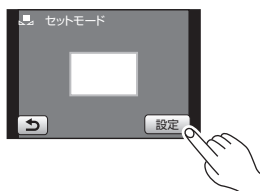
ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

**1** **[ ]をタッチする**

**2** **[SET]をタッチする**

**3** **白い紙など白いものだけを枠内に映し、[設定]をタッチする**

- 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは適正な明るさに調整して、再度設定してください。
- 設定後はメニューを終了してください。

撮影

# 撮影メニューを使う（つづき）

## AF オートフォーカスモード

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを選択できます。

■ 使えるモード: MS SCN

■ 設定

| [ ]:（顔認識） | 人の顔を自動的に検知します。（最大15個）認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。 |
|---|---|
| [ ]:（追尾AF） | 指定した被写体にピントを合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントを合わせ続けます。（動体追尾） |
| [ ]:（11点） | 最大11点までピントを合わせることができます。<br>被写体が中央にない場合に有効です。 |
| [ ]:（1点） | 中央のAFエリア内にピントを合わせます。 |

**お知らせ**

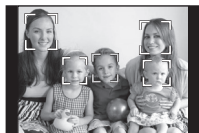
- シーンモードの[星空]、[花火]では オートフォーカスモードは [ ] に固定されます。
- シーンモードの[パノラマアシスト]、[夜景]、[料理]、[空撮]では[ ]に設定できません。

### ■ （顔認識）について

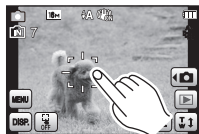
カメラが顔を認識すると以下の色のAFエリア枠が表示されます。

黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。

- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[ ]に切り換わります。
  - ・顔が正面を向いていない／傾いている／極端に明るいまたは暗い／サングラスなどで隠れている／小さく写っている
  - ・顔の陰影が少ない
  - ・被写体が人物以外である
  - ・デジタルズーム使用時
  - ・動きが速い
  - ・手ブレしている

### ■ （追尾AF）を設定する

**被写体を選び、タッチする**

- AFエリアが黄色になり被写体がロックされます。
  被写体の動きに合わせて自動で連続的にピントと露出を合わせます。（動体追尾）
- [ OFF ]をタッチすると、ロックは解除されます。

撮影メニューの設定方法はP29へ

**お知らせ**

- 液晶モニターの右上部分は、画像が映っていてもタッチ操作できません。
- 以下の場合など、撮影状況によっては、AFロックに失敗したり、動体追尾で被写体を見失ったり、他の被写体を追尾することがあります。
  - ・被写体が小さすぎる
  - ・動きが速い
  - ・手ブレしている
  - ・撮影場所が明るすぎる/暗すぎる
  - ・類似した色の他の被写体や背景があるとき
  - ・ズーム使用時
- AFロックに失敗したときは、追尾AF枠が赤くなったあと消えます。もう一度AFロックをやり直してください。
- AFロックや動体追尾が働かないときは、[オートフォーカスモード]は[ ]で撮影されます。
- タッチシャッターを [ ]にすると、追尾AFは解除されます。
- 以下の場合、[ ]に設定できません。
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、[ハイダイナミック]
  - ・カラーモードの[白黒]、[セピア]、[クール]、[ウォーム]

## マクロ撮影モード

花などの被写体に近づいて撮りたいときに設定します。

■ **使えるモード:**

■ **設定**

| | |
|---|---|
| [AF ](AFマクロ) | ズームをもっとも広角(W端)にすると、レンズから5 cmまで接近して撮影できます。 |
| [ ](ズームマクロ) | 被写体に近づいて、さらに拡大して撮りたいときに合わせてください。W端の距離(5 cm)のまま、最大3倍までデジタルズームして撮影します。<br>●通常撮影時よりも画質が劣化します。<br>●ズーム領域表示は青色(デジタルズーム領域)になります。<br>●[オートフォーカスモード]の[ ]設定時はズームマクロ撮影できません。 |
| [OFF] | — |

**お知らせ**

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[ ]にすることをおすすめします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- マクロ撮影時は近距離側を優先するため、被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。

# 撮影メニューを使う（つづき）

## 露出補正

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

■ 使えるモード:

露出アンダー

露出をプラス方向に補正してください。

適正露出

露出をマイナス方向に補正してください。

露出オーバー

**1 スライドバーをドラッグして露出を補正する**
- 露出を補正しない場合は、“0 EV”を選んでください。

**2 [終了]をタッチする**
- 設定後はメニューを終了してください。
- 露出補正値は画面に表示されます。

### お知らせ

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- 設定した露出補正量は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- シーンモードの[星空]時は、露出補正は使えません。

## 暗部補正

背景と被写体の明暗差が大きい場合など、撮影状況に合わせて、コントラストや露出を自動的に補正します。

■ 使えるモード:
■ 設定: [ON]、[OFF]

### お知らせ

- [暗部補正]有効時は、画面の[ ]が黄色になります。
- [ISO感度]が[ISO100]のときでも、[暗部補正]有効時に撮影すると、[ISO感度]は[ISO100]より大きくなることがあります。
- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。

## I.R超解像

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影することができます。

■ **使えるモード:**
■ **設定**

| [ON] | [超解像]が働きます。 |
|---|---|
| [iA ZOOM] | [超解像]が働き、ほとんど画質を劣化させずにズーム倍率を約1.3倍上げることができます。 |
| [OFF] | ― |

**お知らせ**
- iAズームについては39ページをお読みください。

## デジタルズーム

光学ズーム、EX光学ズーム、またはiAズームよりも、さらに拡大することができます。

■ **使えるモード:** MS SCN
■ **設定:[ON]、[OFF]**

**お知らせ**
- 詳しくは、39ページをお読みください。
- ズームマクロ撮影時は[ON]に固定されます。

## 連写

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

■ **使えるモード:** iA MS SCN
■ **設定:[ON]、[OFF]**
連写速度: 約1.3コマ/秒
連写コマ数: 内蔵メモリー/カードの空き容量による

**お知らせ**
- **途中から連写速度が遅くなります。**遅くなるタイミングは、カードの種類、記録画素数によって変化します。
- 内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。
- ピントは1コマ目で固定されます。
- 1コマごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- セルフタイマー使用時の連写設定は、3コマに固定されます。
- 暗いところやISO感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度(コマ/秒)が遅くなる場合があります。
- 連写設定は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- 内蔵メモリーで連写を行った場合は、書き込みに時間がかかります。
- **連写を設定すると、フラッシュは[ ]になります。**
- シーンモードの[パノラマアシスト]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[星空]、[花火]、[ピンホール]、[フォトフレーム]では、連写は使えません。

# 撮影メニューを使う（つづき）

## カラーモード

画像をくっきりしたり、柔らかくする、またはセピア色にするなど、色の効果を設定します。

■ 使えるモード：

■ 設定

| [STD.]（標準） | 標準的な設定 |
|---|---|
| [Happy]（Happy）※1 | 明るさと鮮やかさが強調された画像 |
| [NAT]（ナチュラル）※2 | 柔らかい画像 |
| [VIVID]（ヴィヴィッド）※2 | くっきりとした画像 |
| [B/W]（白黒） | 白黒画像 |
| [SEPIA]（セピア） | セピア色の画像 |
| [COOL]（クール）※2 | 青っぽい画像 |
| [WARM]（ウォーム）※2 | 赤っぽい画像 |

※1 インテリジェントオートモード時のみ設定できます。
※2 通常撮影モードまたは動画撮影モード時のみ設定できます。

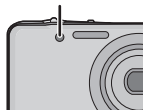
## AF補助光

暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。（撮影に応じて大きなAFエリアが表示されます）

■ 使えるモード：MS SCN

■ 設定：[ON]、[OFF]

### お知らせ

- 補助光の有効距離は1.5 mです。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- シーンモードの[自分撮り]、[風景]、[夜景]、[夕焼け]、[花火]、[空撮]では、AF補助光は[OFF]に固定されます。

## デジタル赤目補正

赤目軽減([⚡A👁]、[⚡👁]、[⚡S👁])選択時にフラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

■ **使えるモード:** 📷 🎨 MS SCN
■ **設定:** [ON]、[OFF]

**お知らせ**
- [オートフォーカスモード]が[顔]で顔認識しているときのみ働きます。
- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。
- [ON]に設定すると、アイコンに[ ]が表示されます。

## 手ブレ補正

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。

■ **使えるモード:** 📷 🎨 MS SCN
■ **設定:** [ON]、[OFF]

**お知らせ**
- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  - ・手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
  - ・デジタルズーム領域
  - ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - ・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき

  シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
- シーンモードの[自分撮り]では[ON]に固定されます。
- シーンモードの[星空]では[OFF]に固定されます。

# 撮影メニューを使う（つづき）

撮影メニューの設定方法はP29へ

## 日付焼き込み

撮影日時入りの写真を撮影できます。

■ 使えるモード：

■ 設定

| [DATE]（日付） | 年月日を焼き込みます。 |
|---|---|
| [TIME]（日時） | 年月日時分を焼き込みます。 |
| [OFF] | ― |

お知らせ

- **[日付焼き込み]を設定して撮影した写真の日付情報は、消すことができません。**
- **日付焼き込みされた写真をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。**
- 時計設定を行っていないと、日付情報を焼き込むことができません。
- 以下の場合、日付焼き込みは [OFF] に固定されます。
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[高速連写]、[フラッシュ連写]
  - ・撮影メニューの[連写]
- [日付焼き込み]を設定して撮影した写真は[文字焼き込み]、[リサイズ]、[トリミング]の設定はできません。
- [日付焼き込み]を[OFF]にして撮影しても、[文字焼き込み](P72)を使って撮影画像に日付を焼き込んだり、日付プリント(P78、90)を設定することができます。

## 時計設定

お知らせ

- 詳しくは、17ページをお読みください。

# いろいろな再生方法

再生モード：▶

撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。

## 1 再生状態で[◀▶]をタッチする

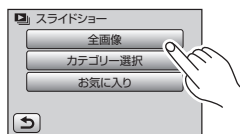
## 2 再生モードアイコンをタッチする

| 再生モード | 設定 |
|---|---|
| [通常再生](P24) | すべての画像を再生します。 |
| [スライドショー](P67) | 画像を順番に再生します。 |
| [絞り込み再生](P69) | 画像を分類して再生します。 |
| [カレンダー検索](P70) | 撮影した日付ごとに画像を再生します。 |

## スライドショー

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。またカテゴリーで分類した画像や、お気に入りに設定した画像のみをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。

## 1 再生するグループをタッチする

- [カテゴリー選択]時は、再生したいカテゴリーをタッチしてください。
  カテゴリーの詳細については69ページをお読みください。

## 2 [開始]をタッチする

撮影
再生・編集

# いろいろな再生方法（つづき）

再生モード：▶

## ■ スライドショー中の操作

**1 画面をタッチしてコントロールパネルを表示する**

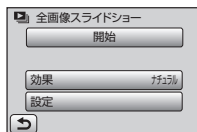
● 約2秒間何も操作しないと元の状態に戻ります。

**2 コントロールパネルをタッチして操作する**

| ▶/❚❚ | 再生／一時停止 | ■ | スライドショーを終了する |
|---|---|---|---|
| ⏮ | 前の画像へ<br>（一時停止中） | ⏭ | 次の画像へ<br>（一時停止中） |
| ＋ | 音量上げる | － | 音量下げる |

● スライドショーを終了すると、通常再生になります。

## ■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

**[効果]**

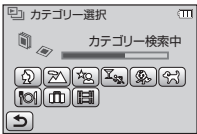
画像切り換え時の画面効果、音楽効果を選ぶことができます。

[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]、[おまかせ]

● [アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
● [おまかせ]は、[カテゴリー選択]選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにおすすめの効果で再生します。
● 縦向きに表示された画像を再生するときは、一部の[効果]は動作しません。

**[設定]**

再生間隔やリピートを設定できます。

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| [再生間隔] | 1 秒、2 秒、3 秒、5 秒 |
| [リピート] | ON、OFF |
| [音楽] | ON、OFF |

● [再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。
● [音楽] は、[効果]を[OFF]に設定していると、選択できません。

**お知らせ**

● スライドショーでは動画再生できません。[カテゴリー選択]の[🎞](動画)を選択したときは、動画の最初の画面が写真としてスライドショーされます。

## 絞り込み再生

カテゴリーごとや、お気に入りに設定した画像に分類して再生します。

| 項目 | 設定内容 |
| --- | --- |
| [カテゴリー選択] | シーンモードなどのカテゴリー(人物･風景･夜景など)を検索し、各カテゴリーごとに画像を分類します。各カテゴリーごとに再生することができます。<br>**再生したいカテゴリーをタッチする**<br>●画像が見つかったカテゴリーのみ選択できます。<br>カテゴリー選択<br>カテゴリー検索中 |
| [お気に入り] | [お気に入り]設定(P76)した画像を再生することができます。 |

### ■ 分類されるカテゴリーについて

[カテゴリー選択]時は、以下のように分類されます。

| | シーンモードなどの撮影情報 |
| --- | --- |
| | 人物、i人物、変身、自分撮り、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん、コスメティックモード |
| | 風景、i風景、夕焼け、i夕焼け、空撮 |
| | 夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、星空 |
| | スポーツ、パーティー、キャンドル、花火、ビーチ、雪、空撮 |
| | 赤ちゃん |
| | ペット |
| | 料理 |
| | トラベル日付 |
| | 動画 |

再生・編集

# いろいろな再生方法（つづき）

再生モード：[▶]

## [カレンダー検索アイコン]カレンダー検索

撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

### 1 [▲]/[▼]をタッチして再生したい月を選ぶ

- 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。
- [[マルチ再生アイコン]]をタッチするとマルチ再生画面が表示されます。

### 2 再生したい日付を選び、[決定]をタッチする

### 3 再生したい画像をタッチする

- [[CAL]]をタッチすると、カレンダー検索表示画面に戻ります。

**お知らせ**

- はじめに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2011年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

# 再生メニューを使う

再生モード：▶

画像共有サイトへアップロードする画像を設定したり、撮影した画像を切り抜くなどの編集やプロテクト設定などができます。

- [文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)] または [トリミング(切抜き)]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをおすすめします。

**再生メニューの設定方法はP29へ**

## WEB アップロード設定

画像共有サイト(LUMIX CLUB PicMate/Facebook/YouTube)へアップロードする画像を、本機で設定しておくことができます。

- LUMIX CLUB PicMate/Facebook へは写真のみ、YouTube へは動画のみをアップロードすることができます。
- **内蔵メモリーの画像には設定できません。**
  **カードにコピー(P80)してから[WEBアップロード設定]をしてください。**

### 1 再生メニューから[WEBアップロード設定]を選ぶ

### 2 [ 1 枚設定]または[ 複数設定]をタッチする

### 3 画像を選ぶ

**[1 枚設定]選択時**
**画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする**
- [解除]をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

**[複数設定]選択時**

**1 アップロードしたい画像をタッチする(繰り返す)**
- もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。

**2 [実行]をタッチする**
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

### ■ 画像共有サイトへアップロードする

[WEBアップロード設定]をすると、本機に内蔵のアップロードツール（LUMIX WEB アップローダー）がカードへ自動的にコピーされます。
パソコンに接続したあと（P85）、アップロードの操作を行います。詳しくは、87ページをお読みください。

### ■ [WEBアップロード設定]を全解除する

**1** 再生メニューから[WEBアップロード設定]を選ぶ

**2** [CANCEL]をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

**お知らせ**

- 他機で撮影された画像には、設定できない場合があります。
- 512 MB 未満のカードでは設定できません。

## 文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付を焼き込むことができます。

**1** 再生メニューから[文字焼き込み]を選ぶ

**2** [1枚設定]または[複数設定]をタッチする

**3** 文字を焼き込みたい画像を選ぶ

- すでに日付/文字焼き込みされた画像には、
  画面に[ ]が表示されます。

[1枚設定]選択時

**1** 画面を水平にドラッグして画像を選ぶ

**2** [決定]をタッチする

[複数設定]選択時

**1** 画像をタッチする（繰り返す）

- もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。

**2** [実行]をタッチする

**4** [設定]をタッチする

## 5 焼き込む項目を選ぶ

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| [撮影日時] | [日付]: 年月日を焼き込みます。<br>[日時]: 年月日時分を焼き込みます。<br>[OFF] |
| [名前] | [👶/🐕](赤ちゃん/ペット):<br>シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定で登録された名前を焼き込みます。<br>[OFF] |
| [旅行先] | [ON]: [旅行先]で設定された旅行先名を焼き込みます。<br>[OFF] |
| [トラベル日付] | [ON]: [トラベル日付]で設定されたトラベル日付を焼き込みます。<br>[OFF] |

## 6 [↩]をタッチする

## 7 [実行]をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

### お知らせ

- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- 0.3M(4:3)の画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
  - ・動画
  - ・時計を設定せずに撮影された画像
  - ・日付/文字焼き込みされた画像
  - ・他機で撮影された画像

# 再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

## リサイズ(縮小)　画像サイズ(画素数)を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。

### 1 再生メニューから[リサイズ(縮小)]を選ぶ

### 2 [ 1枚設定]または[ 複数設定]をタッチする

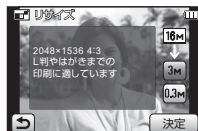
### 3 画像、サイズを選ぶ

[1枚設定]選択時

**1** 画面を水平にドラッグして画像を選び、[決定]をタッチする

**2** 変更したいサイズをタッチして、[決定]をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

リサイズ
2048×1536 4:3
L判やはがきまでの印刷に適しています
16M
3M
0.3M
決定

[複数設定]選択時

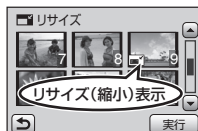
**1** 変更したいサイズをタッチする

**2** 画像をタッチする(繰り返す)

- もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。

**3** [実行]をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

リサイズ
7 8 9
リサイズ(縮小)表示
実行

**お知らせ**

- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- リサイズ(縮小)を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はリサイズ(縮小)できない場合があります。
- 動画または日付/文字焼き込みされた画像はリサイズ(縮小)できません。

## ✂トリミング(切抜き)　画像を切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

### 1 再生メニューから[トリミング(切抜き)]を選ぶ

### 2 画面を水平にドラッグして画像を選び、[決定]をタッチする

### 3 切り抜く部分を選ぶ

[⊕]をタッチ:　拡大
[⊖]をタッチ:　縮小
ドラッグ:　移動

### 4 [決定]をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

**お知らせ**

- トリミング(切抜き)を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミング(切抜き)できない場合があります。
- 動画または日付/文字焼き込みされた画像はトリミング(切抜き)できません。

# 再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

## ★お気に入り

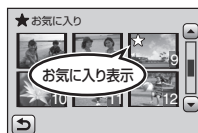
画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。([絞り込み再生]の[お気に入り])
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。([★以外全消去])

### 1 再生メニューから[お気に入り]を選ぶ

### 2 [★S 1枚設定]または[★M 複数設定]をタッチする

### 3 画像を選ぶ

**[1枚設定]選択時**
**画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする**
- [解除]をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

**[複数設定]選択時**
**お気に入り設定したい画像をタッチする**
- もう一度同じ画像をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

### ■[お気に入り]設定を全解除する

**1** 再生メニューから[お気に入り]を選ぶ
**2** [CANCEL]をタッチする
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

#### お知らせ
- 999枚まで設定できます。
- 他機で撮影された画像では、[お気に入り]設定ができない場合があります。

再生メニューの設定方法はP29へ

## プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、カードにコピー(P80)してから[プリント設定]の設定をしてください。

### 1 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ

### 2 [ 1枚設定]または[ 複数設定]をタッチする

### 3 画像を選ぶ

**[1枚設定]選択時**
**画面を水平にドラッグして画像を選び、**
**[設定]をタッチする**

**[複数設定]選択時**
**プリント設定したい画像をタッチする**

### 4 [▲]/[▼]をタッチしてプリント枚数を設定し、[決定]をタッチする

- [複数設定]選択時は、手順**3**、**4**を繰り返してください。
  (一括設定することはできません)
- 設定後はメニューを終了してください。

### ■ [プリント設定]を全解除する

**1** 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ
**2** [CANCEL]をタッチする
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

# 再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

## ■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[日付]をタッチするごとに日付プリントを設定/解除できます。

- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 日付/文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

### お知らせ

- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- 動画はプリント設定できません。
- DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。

再生メニューの設定方法はP29へ

## プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

### 1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

### 2 [1枚設定]または[複数設定]をタッチする

### 3 画像を選ぶ

[1枚設定]選択時

**画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする**

- [解除]をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[複数設定]選択時

**プロテクトしたい画像をタッチする**

- もう一度同じ画像をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

### ■ [プロテクト]設定を全解除する

**1** 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

**2** [CANCEL]をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

**お知らせ**

- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 画像をプロテクトしなくても、カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

# 再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

再生メニューの設定方法はP29へ

## 画像コピー　内蔵メモリーの画像をコピーする

撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、カードから内蔵メモリーにコピーすることができます。

### 1 再生メニューから[画像コピー]を選ぶ

### 2 画像データのコピー方向をタッチする

IN→SD：内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。

SD→IN：カードから内蔵メモリーへ１枚ずつコピーされます。

画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチしてください。

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。
- コピー中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。

#### お知らせ

- [IN→SD]時、コピーする画像と同じ名前（フォルダー番号／ファイル番号）の画像がコピー先にある場合、新しいフォルダーを作成してコピーします。
  [SD→IN]時は、同じ名前（フォルダー番号／ファイル番号）の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。
- コピーに時間がかかる場合があります。
- [プリント設定]、[プロテクト]設定または[お気に入り]設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。

# 撮影した写真で楽しむ

撮影した写真の加工が簡単にできます。

写真にスタンプを押したり、エステやメイクアップ効果を加えて顔の印象を華やかに変えたりできるので、気に入った写真をきれいに残しておくことができます。

- 加工した写真は新しく作成されますので、内蔵メモリーまたはカードの容量に余裕があることを確認してください。

## 1 再生画面で[ ]をタッチする

## 2 アイコンをタッチする

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| [ビューティレタッチ](P82) | [エステレタッチ]を使って肌の透明感やテカリを整えたり、[メイクアップレタッチ]を使って肌や唇の色などを調整して顔の印象を変えたりすることができます。 |
| [スタンプ](P84) | 撮影した写真にハートマークや星マークなど、お好みのスタンプを最大10個まで押すことができます。 |

# 撮影した写真で楽しむ（つづき）

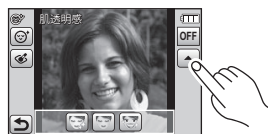
## ビューティレタッチ

**1** 画面を水平にドラッグして写真を選び、[OK]をタッチする

**2** 編集したい人物の顔をタッチする

- 矢印の付いている人物のみ選択できます。

**3** [ ]または[ ]を選び、項目をタッチする

- [▲]/[▼]をタッチしてお好みの設定にしてください。
- 続けて別の効果を加えるときは、この手順を繰り返してください。
- 写真の編集が終わったら、[OK]をタッチしてください。適用前と適用後の画面が表示されます。

[ ] [エステレタッチ]（以下の項目ごとに５段階の効果が選べます）

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| [肌透明感] | 肌のしみやくすみを抑え、透明感を出します |
| [テカリ除去] | 肌のテカリや光っている部分を抑えます |
| [ホワイトニング] | 目や歯をより白くきれいに見せます |

[ ] [メイクアップレタッチ]（以下の項目ごとに５色の効果が選べます）

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| [肌色] | 肌の色を調整します |
| [リップカラー] | 唇の色を調整して質感を出します |
| [チークカラー] | 3つの形状から選び、顔の立体感を出します |
| [アイシャドー] | 目の形をくっきりと見せます |

**4** [OK]をタッチする

- 続けて別の人物を編集することができます。
  手順**2**、**3**を繰り返してください。
- 編集済みの人物は再度編集できません。編集したい場合は、一度写真を保存してから人物を選び直してください。

**5** [保存]をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

### お知らせ

- 動画にはビューティレタッチできません。
- 他機で撮影された写真はビューティレタッチできない場合があります。
- 顔の検知がうまくできていない場合、意図どおりのレタッチができないことがあります。
- ビューティレタッチに適した写真を撮るには：
  - ・顔を正面から撮影する
  - ・極端に暗い場所での撮影を避ける
  - ・レタッチをかけたい部分をはっきりと撮影する
- ReallusionはReallusion社の商標です。

楽しむ

# 撮影した写真で楽しむ (つづき)

## スタンプ

**1** 画面を水平にドラッグして写真を選び、[OK] をタッチする

**2** スタンプを押したい場所をタッチする

**3** 写真の編集が終わったら、[OK] をタッチする

**4** [OK] をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
- 記録画素数は5M(4:3)、4.5M(3:2)、3.5M(16:9)、3.5M(1:1)に固定されます。

### ■ スタンプを変更する/消去する

以下のアイコンをタッチして、スタンプを変更したり消去することができます。

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| [スタンプ] | **押したいスタンプのアイコンをタッチする**<br>● 32 種類のスタンプから選びます。<br>● [ ] の表示が選択したスタンプに変わります。<br>● [ ]/[ ] をタッチすると、アイコンを回転させることができます。<br>● [ ]/[ ] をタッチすると、ページを切り換えることができます。 |
| [スタンプ消去] | **画面上の消去したいスタンプをタッチする** |
| | ● 直前の操作を取り消します。 |

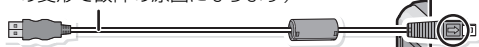
**お知らせ**

- 動画にはスタンプを押せません。
- 3M(4:3)/0.3M(4:3) の写真にスタンプを押す場合、画質は劣化します。
- 縦向きで撮影した写真にスタンプを押す場合、写真は横向きのまま表示されます。

# パソコンと接続する

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことなどができます。
- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。
- **SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。(撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください)カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。http://panasonic.jp/support/sd_w/**

準備: 本機とパソコンの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像を使うときは、カードを抜いておく。

パソコン　USB接続ケーブル(付属)
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする。(向きを逆にすると、端子の変形で故障の原因になります)

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)およびDCカプラー(別売:DMW-DCC10)を使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。「安全にUSB接続ケーブルを取り外す」(P86)をお読みのうえ、USB接続ケーブルを抜いてください。データが破壊される恐れがあります。

## 1 USB接続ケーブル(付属)を本機とパソコンに挿入する
- **付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。**

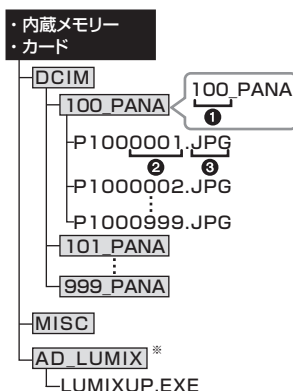
## 2 [PC] をタッチする

## 3 パソコンを操作する
- 取り込みたい画像の入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップすると、パソコンに画像を保存することができます。

**お知らせ**
- ACアダプター(別売)を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊される恐れがあります。

# パソコンと接続する（つづき）

## ■ 内蔵メモリー/カードの中をパソコンで見る（フォルダー構造）

Windowsの場合：　「マイコンピュータ」にドライブ（「リムーバブルディスク」）を表示
Macの場合：　デスクトップ上にドライブ（「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」）を表示

DCIM：　画像
❶ フォルダー番号
❷ ファイル番号
❸ JPG：　写真
MOV：　動画
MISC：　DPOFプリント
お気に入り
AD_LUMIX：　WEBアップロード用
LUMIXUP.EXE：　アップロードツール
（LUMIX WEB アップローダー）
※内蔵メモリーには作成されません。

以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。
- 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合（他社のカメラで撮影した場合など）
- フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合

## ■ 安全にUSB接続ケーブルを取り外す

- パソコンでタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。
アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラの液晶モニターに[通信中]が表示されていないことを確認してから取り外してください。

## ■ PTPモードで接続する
### （Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7/Mac OS Xのみ）

USB接続ケーブル接続時に、[PictBridge(PTP)]を選んでください。
- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。

## 「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンにコピーする

取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。

- 動作環境やインストールについて、詳しくは**別冊の「パソコン接続ガイド」**をお読みください。

## 画像を共有サイトへアップロードする

アップロードツール(LUMIX WEB アップローダー)を使って、写真や動画を画像共有サイト(LUMIX CLUB PicMate/Facebook/YouTube)へアップロードします。
パソコンに画像を取り込んだり、専用のソフトウェアをインストールする必要がないので、ネットワーク接続されたパソコンさえあれば、外出先などでも簡単に画像をアップロードすることができます。

- Windows XP/Windows Vista/Windows 7のパソコンにのみ対応しています。
  (LUMIX WEB アップローダーの取扱説明書は、Internet Explorer でご覧ください)

準備: [WEBアップロード設定](P71)で、アップロードする画像を設定しておく。
パソコンをインターネットに接続する。
利用する画像共有サイトにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。

**1 「LUMIXUP.EXE」をダブルクリックして起動する(P86)**

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」がインストールされている場合、アップロードツール(LUMIX WEB アップローダー)が自動的に起動することがあります。

**2 アップロード先を選ぶ**

- パソコンに表示される画面の指示に従って、以降の操作をしてください。

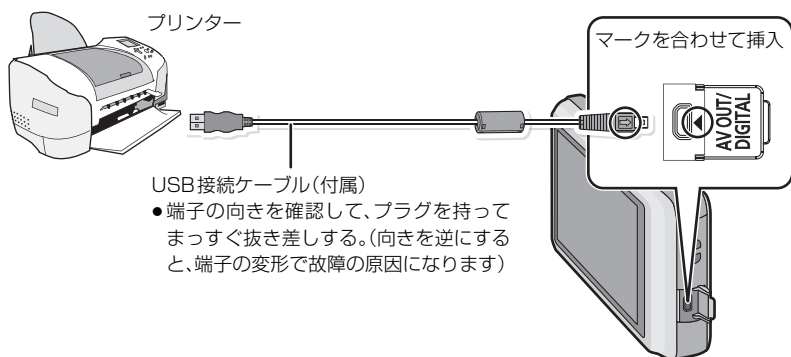
### お知らせ

- LUMIX CLUB PicMate について
  ・デジタルカメラで撮影した写真を共有・公開して楽しむ、SNS 型写真共有サイトです。
  詳しくは、PicMate のサイトをご覧ください。
  http://picmate-club.panasonic.jp/
- YouTubeおよびFacebookのサービスおよび仕様変更に対して、将来にわたって動作保証をするものではありません。利用できるサービス内容や画面は予告なく変更になることがあります。(本サービスは、2011年5月1日現在のものです)
- 著作権により保護されている画像は、ご自身が権利を有しているか、関係する権利者から許可を得ている場合を除いてアップロードしないでください。

# プリントする

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備: 本機とプリンターの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像をプリントするときは、カードを抜いておく。
あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)およびDCカプラー(別売:DMW-DCC10)を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。

## 1 USB接続ケーブル(付属)を本機とプリンターに挿入する

## 2 [PictBridge(PTP)]をタッチする

- プリンターと接続するとケーブル切断禁止アイコン[ ]が表示されます。[ ]表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。

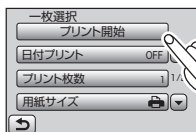
### お知らせ

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- AC アダプター(別売)を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- 動画はプリントできません。

## 画像を選んで1枚ずつプリントする

**1** 画面を水平にドラッグして画像を選び、[プリント]をタッチする

**2** [プリント開始]をタッチする

- プリント開始前に設定できる項目については、90ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

## 複数の画像を選んでプリントする

**1** [複数プリント]をタッチする

**2** 設定したい項目をタッチする

- プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでプリントしてください。

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| **複数選択** | 複数の画像を選んでプリントします。<br>● プリントしたい画像を選んでください。(もう一度同じ画像をタッチすると設定が解除されます)<br>● 選択が終了したら[実行]をタッチしてください。 |
| **全画像** | 保存されているすべての画像をプリントします。 |
| **プリント設定(DPOF)** | [プリント設定]で設定(P77)された画像のみをプリントします。 |
| **お気に入り** | [お気に入り]設定(P76)された画像のみをプリントします。 |

**3** [プリント開始]をタッチする

- プリント開始前に設定できる項目については、90ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

# プリントする（つづき）

## プリントの各種設定

**「画像を選んで１枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。**

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[ ]にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）
- [プリント設定(DPOF)]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

### 日付プリント

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| ON | 日付プリントされます。 |
| OFF | 日付プリントされません。 |

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 日付/文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを[OFF]にしてください。

### プリント枚数

プリントする枚数（最大999枚まで）を設定できます。

### 用紙サイズ

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
|  | プリンターの設定が優先されます。 |
| L/3.5″×5″ | 89 mm×127 mm |
| 2L/5″×7″ | 127 mm×178 mm |
| はがき | 100 mm×148 mm |
| 16:9 | 101.6 mm×180.6 mm |
| A4 | 210 mm×297 mm |

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| A3 | 297 mm×420 mm |
| 10×15cm | 100 mm×150 mm |
| 4″×6″ | 101.6 mm×152.4 mm |
| 8″×10″ | 203.2 mm×254 mm |
| レター | 216 mm×279.4 mm |
| カード | 54 mm×85.6 mm |

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

## レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| (プリンターアイコン) | プリンターの設定が優先されます。 |
| (ふちなしアイコン) | 1面ふちなし印刷 |
| (ふちありアイコン) | 1面ふちあり印刷 |

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| (2面アイコン) | 2面印刷 |
| (4面アイコン) | 4面印刷 |

● プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

### ■ レイアウト印刷について

**1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合**

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[ ]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

**1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合**

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[ ]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

**お知らせ**

● プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
● プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。

## 画像に日付を入れるには

**画像に日付を焼き込む**

[日付焼き込み]/[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

● **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

**日付プリントを設定する**

[プリント設定]のプリント枚数設定時に[日付]をタッチするごとに日付プリントを設定/解除できます。

**お店に依頼する場合**

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。(シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、または[旅行先]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

**自宅でプリントする場合**

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

● CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って日付プリントすることができます。

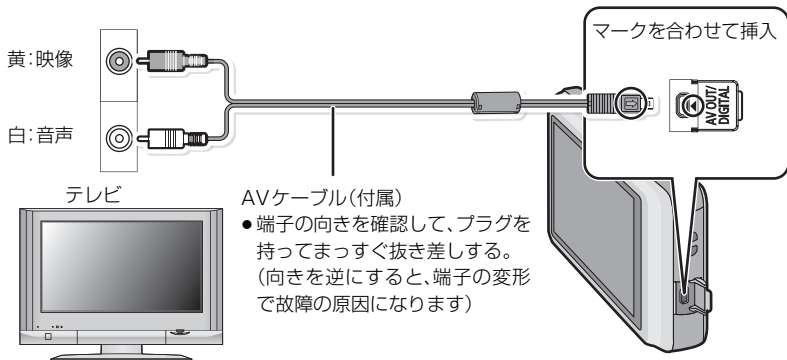
※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

# テレビで見る

再生モード：▶

## AV ケーブル(付属)を使って見る

準備：[TV画面タイプ](P34)を設定する。
　　本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

AVケーブル(付属)
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする。(向きを逆にすると、端子の変形で故障の原因になります)

1. テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する
2. 本機の[AV OUT]端子にAVケーブルを確実に接続する
3. テレビの電源を入れ、外部入力にする
4. 本機の電源スイッチを[ON]にし、再生モードにする

**お知らせ**
- [記録画素数]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 付属のAVケーブル以外は使わないでください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。

## SDカードスロット付きテレビで見る

SDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した写真を再生することができます。

**お知らせ**
- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 動画を再生することはできません。動画を再生したい場合は、AVケーブル(付属)を使用し、本機をテレビに接続してください。
- SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカードに対応しているテレビでなければ再生できません。
- SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカードに対応しているテレビでなければ再生できません。

# 別売品のご紹介

| 品名 | 品番 |
|---|---|
| バッテリーパック※1 | DMW-BCK7 |
| バッテリーチャージャー※2 | DMW-BTC8 |
| DCカプラー※3 | DMW-DCC10 |
| ACアダプター※3 | DMW-AC5 |
| 本革ケース | DMW-CX60 |
| ソフトケース | DMW-CS5 |
| | DMW-CFT1 |
| | DMW-CFP8 |
| | DMW-CP9 |
| ショルダーストラップ | DMW-SSTX1 |

※1 付属のチャージャー(DE-A91A) でも充電できます。
※2 海外用変換プラグ (C タイプ ) 付き
※3 DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。
単独では使用できません。

記載の品番は2011年5月現在のものです。変更されることがあります。

CLUB Panasonic

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/
携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm

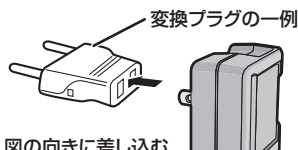
# 海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

## ■ 変換プラグの付けかた

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

## ■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

| 北米 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アメリカ合衆国 | A | カナダ | A | ハワイ | A | | | | | | |
| ヨーロッパ | | | | | | | | | | | |
| イギリス | BF, B3 | イタリア | C | オーストリア | C,SE | オランダ | C,SE | ギリシャ | A,B, B3,C, SE | スイス | A,B, C,SE |
| スウェーデン | B,C, SE | スペイン | A,C, SE | デンマーク | C | ドイツ | A,C, SE | ノルウェー | C | ハンガリー | C |
| フィンランド | B,C | フランス | A,C, SE | ベルギー | B,C, SE | ロシア | A,C, SE | | | | |
| アジア | | | | | | | | | | | |
| インド | B,BF, B3,C | インドネシア | B,B3, C,SE | シンガポール | B,BF, B3 | タイ | A,BF, C | 大韓民国 | A,C, SE | 台湾 | A,C, O |
| 中華人民共和国 | すべて | フィリピン | A,O | ベトナム | A,BF, C, SE | 香港特別行政区 | B,BF, B3,C | マカオ特別行政区 | B,BF, B3,C | マレーシア | B,BF, B3,C |
| オセアニア | | | | | | | | | | | |
| オーストラリア | O | グァム島 | A | サイパン島 | A | トンガ | O | ニュージーランド | O | フィジー | A,B, C,O |
| 中南米 | | | | | | | | | | | |
| アルゼンチン | BF,C, SE | プエルトリコ | A,BF, C | ブラジル | A,C, SE | メキシコ | A,C, SE | | | | |
| 中東・アフリカ | | | | | | | | | | | |
| アラブ首長国連邦 | B,BF, B3 | エジプト | BF,B3, C,SE | クウェート | B,B3, C | トルコ | A,B, C,SE | 南アフリカ共和国 | B,BF, B3,C | モロッコ | A,C, SE |

| タイプ | A | B | BF | B3 | C | SE | O |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | アメリカンタイプ | U.K. タイプ | | | ヨーロピアンタイプ | | オーストラリアンタイプ |
| コンセント形状 | | | | | | | |
| プラグ形状 | 不要です | | | | | | |

## ■ 海外のテレビで画像を見る

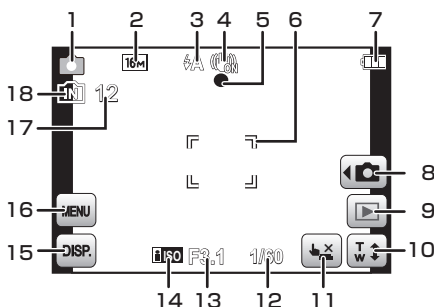
セットアップメニューの[ビデオ出力方式]で[NTSC]または[PAL]に設定してください。

## ■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

# 液晶モニターの表示

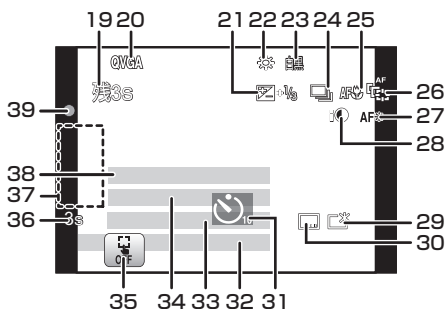
液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

**通常撮影モード[📷]時(お買い上げ時)**

## ■ 撮影時

**1** 撮影モード
**2** 記録画素数(P57)
**3** フラッシュモード(P53)
**4** 手ブレ補正(P65)
手ブレ警告(P18):((📷))
**5** フォーカス(P23)
**6** AFエリア(P23)
**7** バッテリー残量(P11)
**8** 撮影モード選択(P19)
**9** 再生モード選択(P24)
**10** ズーム操作(P40)
**11** タッチシャッター(P37)
**12** シャッタースピード(P22)
**13** 絞り値(P22)
**14** ISO感度(P58)
**15** DISPLAY(P36)
**16** MENU(P29)
**17** 記録可能枚数※1(P16)
**18** 内蔵メモリー(P15)
カード(P15):[カード](記録時のみ表示)

※1 残り枚数が100000枚以上の場合は、[+99999]と表示されます。

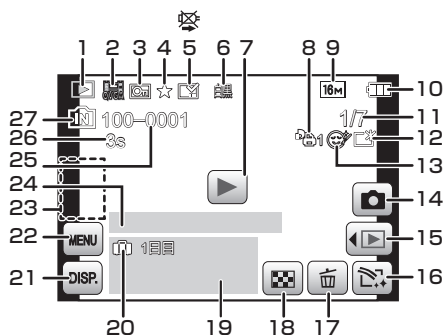
# 液晶モニターの表示 (つづき)

撮影時(各種設定後)

**19** 記録可能時間※2(P26):残XXhXXmXXs
**20** 画質設定(P57)
**21** 露出補正(P62)
**22** ホワイトバランス(P58)
**23** カラーモード(P64)
**24** 連写(P63)
**25** マクロ撮影モード(P61)
**26** オートフォーカスモード(P60)
**27** AF補助光(P64)
**28** 暗部補正(P62)
**29** 液晶モード(P32)
**30** 日付焼き込み(P66)
**31** セルフタイマーモード(P56)
**32** ズーム/EX光学ズーム(P39)/
iAズーム(P39)/
デジタルズーム(P39、63):

EZ iA ZOOM W T 1X

**33** 現在日時/旅行先設定※3(P51):
**34** 月齢/年齢※4(P45)
旅行先※3(P49)
**35** タッチ AF/AE 解除(P38)
**36** 記録経過時間※2(P26)
**37** ショートカット設定エリア(P31)
**38** 名前※4(P45)
トラベル経過日数※3(P49)
**39** 記録動作

※2 h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です。
※3 電源を入れたとき/時計設定後/再生モードから撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。
※4 シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]や[ペット]で電源を入れた場合に約5秒間表示されます。

再生時

## ■ 再生時

**1** 再生モード(P67)
**2** 画質設定(P57)
**3** プロテクト(P79)
**4** お気に入り表示(P76)
**5** 日付/文字焼き込み済み表示(P66、72)
ケーブル切断禁止アイコン(P88)
**6** カラーモード(P64)
**7** 再生(動画)(P27)
**8** プリント枚数(P77)
**9** 記録画素数(P57)
**10** バッテリー残量(P11)
**11** 画像番号/トータル枚数
再生経過時間※1(P27):XXhXXmXXs
**12** パワーLCD(P32)
**13** ビューティレタッチ(P82)
**14** 撮影モード選択(P19)
**15** 再生モード選択(P67)
**16** ビューティレタッチ/スタンプ選択(P81)
**17** 消去(P28)
**18** マルチ再生(P25)
**19** 撮影情報(P36)
**20** トラベル経過日数(P49)
月齢/年齢(P45)
撮影日時/ワールドタイム(P51)
**21** DISPLAY(P36)
**22** MENU(P29)
**23** ショートカット設定エリア(P31)
**24** 名前※2(P45)
旅行先※2(P49)
**25** フォルダー·ファイル番号(P86)
**26** 動画記録時間※1(P27):XXhXXmXXs
**27** 内蔵メモリー(P15)

※1 hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。
※2 [旅行先]、[名前]の優先順位で表示されます。

# メッセージ表示

確認/エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

| メッセージ | 実行していただきたいこと |
|---|---|
| **この画像はプロテクトされています** | 画像のプロテクトを解除してから(P79)消去をしてください。 |
| **消去できない画像があります/この画像は消去できません** | DCF規格に準拠していない画像は消去できません。<br>パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P35)してください。 |
| **この画像には設定できません** | DCF規格に準拠していない画像は[文字焼き込み]、[プリント設定]ができません。 |
| **内蔵メモリー残量が不足しています/メモリーカード残量が不足しています** | 内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。<br>内蔵メモリーからカードへコピーしている場合(一括コピー)、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。 |
| **コピーできない画像がありました/画像をコピーすることができませんでした** | 以下の画像はコピーできません。<br>●コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合（カードから内蔵メモリーへのコピー時のみ）<br>●DCF規格に準拠していないファイル<br>また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーできない場合があります。 |
| **内蔵メモリーエラー<br>フォーマットしますか？** | パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。本機でフォーマット(P35)し直してください。データは消去されます。 |
| **メモリーカードエラー<br>本機では使えない状態です<br>フォーマットしますか？** | 本機では使用できないフォーマットです。<br>●別のカードを入れてお試しください。<br>●パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P35)し直してください。データは消去されます。 |
| **電源を入れ直してください/システムエラー** | レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 |
| **メモリーカードエラー<br>カードのパラメータが異常です/このカードは使用できません** | 本機に対応したカードをお使いください。(P15)<br>●SDメモリーカード(8 MB～2 GB)<br>●SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)<br>●SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB) |

| メッセージ | 実行していただきたいこと |
|---|---|
| **カードを入れ直してください/<br>別のカードでお試しください** | ●カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。<br>●miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。<br>●別のカードを入れてお試しください。 |
| **リードエラー/ライトエラー<br>カードを確認してください** | ●データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源スイッチを[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを[ON]にして記録または読み込みしてください。<br>●カードが破壊されている可能性があります。<br>●別のカードを入れてお試しください。 |
| **カードの書込み速度不足のため<br>記録を終了しました** | ●動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。<br>●「Class6」以上のカードを使用しても停止した場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P35)することをおすすめします。<br>カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 |
| **フォルダーを作成できません** | 使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。<br>パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P35)してください。 |
| **16:9TV用で出力します/<br>4:3TV用で出力します** | ●[TV画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P34)<br>●USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。<br>USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P85、88) |

# Q & A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法（P100～105）をお試しください。

それでも解決できない場合は、**セットアップメニューの［設定リセット］（P34）を行うと症状が改善する場合があります。**

## ■ バッテリー、電源について

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| 電源スイッチを［ON］にしても動作しない。<br>またはすぐに切れる。 | ●バッテリーが消耗しています。充電してください。<br>●電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。<br>→［スリープモード］（P33）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。 |

## ■ 撮影について

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| 画像が撮れない。 | ●撮影モードに設定されていますか？（P19）<br>●内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？<br>→不要な画像を消去して容量を増やしてください。（P28） |
| 撮影した画像が白っぽい。 | ●レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。<br>→汚れたときは、電源を入れ、レンズ鏡筒を出した状態で固定し、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。 |
| 撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。 | →露出が正しく補正されているか確認してください。（P62） |
| 1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。 | →撮影メニューの［連写］（P63）を［OFF］に設定してください。<br>●シーンモードの［高速連写］（P46）または［フラッシュ連写］（P47）になっていませんか？ |
| ピントが合わない。 | ●撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。<br>→被写体までの距離に応じたモードに設定してください。<br>●ピントが合う範囲から外れています。（P23）<br>●手ブレや被写体ブレしています。（P18） |
| 撮影した画像がブレている。<br>手ブレ補正が効かない。 | →暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、本機を両手でしっかり持って撮影してください。（P18）<br>→遅いシャッタースピードで撮影するときは、セルフタイマー（P56）を使って撮影してください。 |

## ■ 撮影について(つづき)

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| 撮影した画像が粗い。<br>ノイズが出る。 | ●ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？<br>(お買い上げ時は、ISO感度が[i ISO]に設定されているため、屋内などの撮影ではノイズが出ます)<br>→ISO感度を低くしてください。(P58)<br>→[カラーモード]を[ナチュラル]に設定してください。(P64)<br>→明るい場所で撮影してください。<br>●シーンモードの[高感度]または[高速連写]に設定していませんか？<br>高感度処理のため画像が少し粗くなりますが、異常ではありません。 |
| 撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。 | ●蛍光灯やLEDなどの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。 |
| 撮影時やシャッター半押し時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじが出たり、液晶モニターの一部または全体が赤っぽくなることがある。 | ●CCDの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。動画撮影では記録されますが、写真には記録されません。<br>●太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。 |
| 動画撮影が途中で止まる。 | ●動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。<br>●使用するカードによっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。<br>→「Class6」以上のカードを使用しても停止した場合や、パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P35)することをおすすめします。 |
| AFロックできない。<br>(動体追尾できない) | ●周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AF枠に合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分をAFロックしてください。(P60) |

# Q ＆ A　故障かな？と思ったら（つづき）

## ■ 液晶モニターについて

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| **液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。** | ●この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。<br>●ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。 |
| **室内で液晶モニターがちらつく。** | ●電源周波数が50 Hzの地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯やLEDなどの照明器具の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。 |
| **液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。** | ●[液晶モード]が働いていませんか？（P32） |
| **液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。** | ●これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。 |
| **液晶モニターにノイズが出る。** | ●暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。 |

## ■ フラッシュについて

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| **フラッシュが発光しない。** | ●[⚡]に設定していませんか？<br>→ フラッシュモードを変更してください。（P53）<br>●撮影メニューの[連写]（P63）を設定しているときは、フラッシュは使用できません。 |
| **フラッシュが複数回発光する。** | ●赤目軽減（P53）にしている場合は、2回発光します。<br>●シーンモードの[フラッシュ連写]（P47）になっていませんか？ |

## ■ 再生について

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| 再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。 | ● [回転表示](P34)を[ ]または[ ]に設定しています。 |
| 再生できない。<br>撮影した画像がない。 | ● 再生モードに設定されていますか?(P24)<br>● 内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか?<br>→ カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。<br>● パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか?その場合、本機で再生することはできません。<br>→ パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをおすすめします。<br>● [絞り込み再生]になっていませんか?<br>→ [通常再生]に設定してください。(P67) |
| フォルダー・ファイル番号が[ー]で表示されたり、画面が黒くなる。 | ● 規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか?<br>● 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか?<br>→ このような画像を消去するには、フォーマット(P35)してください。(他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください) |
| カレンダー検索で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。 | ● 本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか?(P17)<br>● パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー検索時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。 |
| 撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。 | ● 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。<br>撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。 |
| 撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。 | ● デジタル赤目補正([ ]、[ ]、[ ])が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。<br>→ フラッシュモードを[ ]、[ ]、[ ]または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをおすすめします。(P65) |
| 画面に「サムネイル表示」と表示される。 | ● 他機で撮影された写真ではないですか?その場合、画質が劣化して表示されることがあります。 |
| 撮影した動画の音声が途切れる。 | ● 動画撮影時、本機は絞りを自動的に調整します。そのときに記録された音声が途切れることがありますが、異常ではありません。 |
| 本機で撮影した動画が他機で再生できない。 | ● 本機で撮影した動画は他社製デジタルカメラでは再生できない場合があります。また、当社製デジタルカメラ(LUMIX)※においても再生できない場合があります。※ 2008年7月以前発売分 |

# Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

## ■ テレビ、パソコン、プリンターについて

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。 | ●正しく接続されていますか？<br>→テレビの入力切換を外部入力にしてください。<br>→本機の[ビデオ出力方式]を[NTSC]に設定してください。（P34） |
| テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。 | ●テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。 |
| テレビで動画の再生ができない。 | ●カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？<br>→AVケーブル（付属）をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。（P92） |
| テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。 | →本機の[TV画面タイプ]を確認してください。（P34） |
| パソコンに接続して画像を転送できない。 | ●正しく接続されていますか？<br>●パソコンが本機を正常に認識していますか？<br>→接続時に[PC]を選んでください。（P85） |
| パソコンにカードが認識されない。（内蔵メモリーになっている） | →USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。 |
| パソコンにカードが認識されない。（SDXCメモリーカードを使用している） | →お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。<br>**http://panasonic.jp/support/sd_w/**<br>→接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。<br>→液晶モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってから USB接続ケーブルを抜いてください。 |
| LUMIX CLUB PicMate、YouTube、Facebook へのアップロードがうまくいかない。 | →ログイン情報（ログインID/ユーザー名/メールアドレス/パスワード）が間違っていないか確認してください。<br>→パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。<br>→ウィルス対策ソフトやファイアウォールなどの常駐ソフトが、PicMate/YouTube/Facebookへのアクセスをブロックしていないか確認してください。<br>→PicMate(http://picmate-club.panasonic.jp/) や YouTube、または Facebook のサイトもご確認ください。 |
| プリンターに接続して、プリントができない。 | ●PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。<br>→接続時に[PictBridge(PTP)]を選んでください。（P88） |
| プリントすると、画像の端が切れる。 | →トリミング（切抜き）や「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング（切抜き）または「ふちなし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください）<br>→ 16:9のサイズの画像をプリントする場合は、事前にお店にお尋ねください。 |

## ■ その他

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。 | ●暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(P64)が赤く点灯します。 |
| AF補助光が点灯しない。 | ●撮影メニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか?(P64)<br>●明るい場所ではAF補助光は点灯しません。 |
| 本機が熱くなる。 | ●ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能·品質には問題ありません。 |
| レンズ部から「カチッ」と音がする。 | ●ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。 |
| 時計が合っていない。 | ●本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。<br>→「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P17) |
| ズームを使って撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。 | ●ズームの倍率によってはレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、これらは異常ではありません。 |
| ズームの動きが一瞬止まる。 | ●EX光学ズーム時またはiAズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。 |
| ズームが最大倍率にならない。 | ●ズームマクロ(P61)に設定していませんか?<br>ズームマクロ撮影時は最大3倍までのデジタルズームになります。 |
| ファイル番号が連続して記録されない。 | ●特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。 |
| ファイル番号がさかのぼって記録される。 | ●電源スイッチを[OFF]にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー·ファイル番号を記憶することができません。従って、再度電源スイッチを[ON]にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録される場合があります。 |
| タッチしたものと違うものが選択される。 | ●タッチパネル調整(P35)を行ってください。 |
| 放置していたら、突然デモが表示される。 | ●これは本機の特長を紹介する自動デモです。 |

# 使用上のお願い

## 本機について

**磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う**

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやACアダプター（別売：DMW-AC5）、DCカプラー（別売：DMW-DCC10）を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

**電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない**

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

**付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。**
**また、コード、ケーブルは延長しないでください。**

**周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない**

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

**スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。**

- スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

## お手入れについて

**お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。**

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

## 液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

**液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。**

## レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。

## バッテリーについて

**本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。**
**このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。**

### 使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

### 出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P94)

### バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

# 使用上のお願い（つづき）

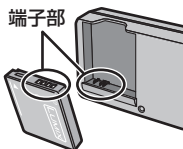
**不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。**

**使用済み充電式電池の届け先**
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
● ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

充電式
リチウムイオン
電池使用

**使用済み充電式電池の取り扱いについて**
● 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
● 分解しないでください。

## チャージャーについて

● ラジオ（特にAM受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
● 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
● 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約0.1 Wの電力を消費しています）
● チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

## カードについて

**カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない**
**また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない**
● カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
● 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
● カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

**メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い**
**本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。**

**廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。**
**メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。**

## 個人情報について

赤ちゃんモードで名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

### 免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

### 修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P34)
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(P80)をし、その後内蔵メモリーをフォーマット(P35)してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

**メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、108ページの「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。**

## 長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  (推奨温度:15 ℃～25 ℃、推奨湿度:40%RH～60%RHです)
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源スイッチが[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れています。
  これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをおすすめします。
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをおすすめします。

# 使用上のお願い（つづき）

## 画像データについて

不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 三脚/一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。無理な力で回すと本機のねじを損傷する恐れがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 三脚/一脚の説明書もよくお読みください。
- DCカプラーおよびACアダプター接続時、三脚/一脚の種類によっては取り付けることができないものがあります。
- 三脚/一脚の種類によっては、スピーカーがふさがれ、操作音などが聞こえにくくなる場合があります。

**－このマークがある場合は－**

**ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報**

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- YouTube は、Google Inc. の登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。
  DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

# 仕様

| | |
|---|---|
| **電源** | DC 5.1 V |
| **消費電力** | 1.2 W（撮影時）<br>0.7 W（再生時） |

| | |
|---|---|
| **カメラ有効画素数** | 1610 万画素 |
| **撮像素子** | 1/2.33型CCD　総画素数 1660 万画素、原色カラーフィルター |
| **レンズ** | 光学4倍ズーム　f=5 mm～20 mm（35 mmフィルムカメラ換算：28 mm～112 mm）/F3.1（W 端時）～ F6.5（T 端時） |
| **デジタルズーム** | 最大4倍 |
| **EX光学ズーム** | 最大9 倍（300万画素 [3M]以下時） |
| **フォーカス** | 通常/AFマクロ/ ズームマクロ / タッチ AF/AE |
| | 顔認識/追尾AF/11点/1点/画面タッチエリア（タッチAF/AE時） |
| **撮影範囲** | 通常:50 cm（W 端時）/1 m（T 端時）～∞<br>マクロ/インテリジェントオート /動画：<br>5 cm（W端時）/1 m（T端時）～∞<br>シーンモード：上記撮影範囲と異なる場合あり |
| **シャッターシステム** | 電子シャッター連動メカニカルシャッター |
| **連写撮影：連写速度**<br>**連写コマ数** | 約 1.3コマ/秒<br>内蔵メモリーまたはカードの空き容量に依存 |
| **高速連写：連写速度**<br>**連写コマ数** | 約 4.4 コマ/秒<br>記録画素数：3M（4:3）、2.5M（3:2）、2M（16:9）、2.5M（1:1）<br>内蔵メモリー使用時：約15コマ（フォーマット直後）<br>カード使用時:最大 100コマ（カードの種類、撮影条件によって異なる） |
| **ISO感度**<br>**（標準出力感度）** | iISO/100/200/400/800/1600<br>シーンモードの[高感度]：1600～6400 |
| **シャッタースピード** | 8秒～1/1600秒、シーンモードの[星空]：15秒、30秒、60秒 |
| **ホワイトバランス** | オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/セットモード |
| **露出** | プログラムAE、露出補正（1/3 EVステップ、−2 EV～+2 EV） |
| **測光方式** | マルチ測光 |
| **液晶モニター** | 3.0型TFT液晶（3：2）（約23万ドット）（視野率約100%）<br>タッチパネル |
| **フラッシュ** | 撮影可能範囲：約40 cm～約3.3 m（W端、[ISO iISO]設定時） |
| | オート/赤目軽減オート/強制発光（赤目軽減強制発光）/<br>発光禁止 /（赤目軽減スローシンクロ） |
| **マイク** | モノラル |

| スピーカー | モノラル |
|---|---|
| 記録メディア | 内蔵メモリー(約 84 MB)/SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXC メモリーカード |
| 記録画素数<br>写真<br><br><br><br><br><br>画質設定<br>動画 | <br>4608×3456画素 /3648×2736画素 /2560×1920画素/2048×1536画素/640×480画素<br>4608×3072画素<br>4608×2592 画素<br>3456×3456 画素<br><br>1280×720画素(24コマ/秒、カード使用時のみ)<br>640×480画素(30コマ/ 秒、カード使用時のみ)<br>320×240画素(30コマ/ 秒) |
| 記録画像ファイル形式<br>写真<br>動画 | <br>JPEG(DCF準拠、Exif2.3準拠)/DPOF対応<br>QuickTime Motion JPEG(音声付き動画) |
| インターフェース<br>デジタル<br>アナログビデオ<br>オーディオ | <br>USB 2.0(High Speed)<br>NTSC/PALコンポジット(メニュー切り換え)<br>オーディオライン出力(モノラル) |
| 端子<br>AV OUT/DIGITAL | <br>専用ジャック(8pin) |
| 寸法 | 約 幅95.2 mm×高さ56.3 mm×奥行き 19.4 mm (突起部除く) |
| 質量 | 約126 g(カード、バッテリー含む)<br>約109 g(本体) |
| 推奨使用温度 | 0 ℃～40 ℃ |
| 許容相対湿度 | 10%RH～80%RH |
| 言語切換 | なし(日本語のみ) |

**専用バッテリーチャージャー:DE-A91A**

| 定格入力 | 100 V－240 V 50/60 Hz |
|---|---|
| 入力容量 | 15 VA |
| 定格出力 | DC 4.2 V 0.43 A |

**リチウムイオンバッテリーパック : NCA-YN101F**

| 電圧/ 容量 | 3.6 V/660 mAh |
|---|---|

# 安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

**■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

| | | |
|---|---|---|
|  | 危険 | 「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。 |
|  | 警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
|  | 注意 | 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

**■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

| | | | |
|---|---|---|---|
|  | してはいけない内容です。 |  | 実行しなければならない内容です。 |

## ⚠危険

### バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する

（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

### バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

### バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない

（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

# ⚠警告

## 異常・故障時には直ちに使用を中止する

## 異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。

・電源を切り、販売店にご相談ください。

## チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流 100 V～240 V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

## 電源プラグは、正しく扱う

火災・感電・ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない

## 分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

## 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

# ⚠警告

## 乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。
- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

## 運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

## 電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

## メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

## 可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。
- 粉じんの発生する場所でも使わない

## 雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。
- 本体やチャージャーには、金属部があります。

# ⚠注意



## フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離(数cm)で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

## フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

## 次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

## フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

## 次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

## 病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

## レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは・・・

## ■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

| | | | |
|---|---|---|---|
| 販売店名 | | | |
| 電話 | (　　) | ー | |
| お買い上げ日 | 年 | 月 | 日 |

**修理を依頼されるときは・・・**

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」(98～105ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

| | |
|---|---|
| ●製品名 | デジタルカメラ |
| ●品　番 | DMC-FH7 |
| ●故障の状況 | できるだけ具体的に |

●**保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**
保証期間：お買い上げ日から本体１年間
（但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

●**保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

**技術料** 診断・修理・調整・点検などの費用
**部品代** 部品および補助材料代
**出張料** 技術者を派遣する費用

※**補修用性能部品の保有期間** 8年
当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後８年保有しています。

## ■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

| パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時〜20時 |
| --- |
| 電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK® **0120-878-638**<br>※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 |

●修理に関するご相談は・・・

| パナソニック 修理ご相談窓口 |
| --- |
| 電 話 フリーダイヤル  **0120-878-554**<br>※携帯電話・PHSからもご利用になれます。<br>• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、<br>各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。 |

**ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて**

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

**愛情点検** 長年ご使用のデジタルカメラの点検を！

| こんな症状はありませんか | ・煙が出たり、異常なにおいや音がする<br>・映像や音声が乱れたり出ないことがある<br>・内部に水や異物が入った<br>・本体やチャージャーが破損した<br>・その他の異常や故障がある |
| --- | --- |

▼

| ご使用中止 | 故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。 |
| --- | --- |

# 保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

## ■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

| 地区 | 窓口 | 電話番号 | 住所 |
|---|---|---|---|
| 北海道地区 | 札 幌 | ☎(011)894-1251 | 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 |
| | 旭 川 | ☎(0166)22-3011 | 旭川市2条通16丁目1166 |
| | 帯 広 | ☎(0155)33-8477 | 帯広市西20条北2丁目23-3 |
| | 函 館 | ☎(0138)48-6631 | 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） |
| 東北地区 | 青 森 | ☎(017)775-0326 | 青森市大字浜田字豊田364 |
| | 秋 田 | ☎(018)868-7008 | 秋田市外旭川字小谷地3-1 |
| | 岩 手 | ☎(019)645-6130 | 盛岡市厨川5丁目1-43 |
| | 宮 城 | ☎(022)387-1117 | 仙台市宮城野区扇町7-4-18 |
| | 山 形 | ☎(023)641-8100 | 山形市平清水1丁目1-75 |
| | 福 島 | ☎(024)991-9308 | 郡山市亀田1丁目51-15 |
| 首都圏地区 | 栃 木 | ☎(028)689-2555 | 宇都宮市上戸祭3丁目3-19 |
| | 群 馬 | ☎(027)254-2075 | 前橋市箱田町325-1 |
| | 茨 城 | ☎(029)864-8756 | つくば市筑穂3丁目15-3 |
| | 埼 玉 | ☎(048)728-8960 | 桶川市赤堀2丁目4-2 |
| | 千 葉 | ☎(043)208-6034 | 千葉市中央区末広5丁目9-5 |
| | 東 京 | ☎(03)5477-9700 | 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 |
| | 山 梨 | ☎(055)222-5822 | 甲府市宝1丁目4-13 |
| | 神奈川 | ☎(045)847-9720 | 横浜市港南区日野5丁目3-16 |
| | 新 潟 | ☎(025)286-0180 | 新潟市東区東明1丁目8-14 |
| 中部地区 | 石 川 | ☎(076)280-6608 | 金沢市玉鉾2丁目266番地 |
| | 富 山 | ☎(076)424-2549 | 富山市根塚町1丁目1-4 |
| | 福 井 | ☎(0776)21-0622 | 福井市問屋町2丁目14 |
| | 長 野 | ☎(0263)86-9209 | 松本市寿北7丁目3-11 |
| | 静 岡 | ☎(054)287-9000 | 静岡市駿河区高松2丁目24-24 |
| | 愛 知 | ☎(052)819-0225 | 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 |
| | 岐 阜 | ☎(058)278-6720 | 岐阜市中鶉4丁目42 |
| | 高 山 | ☎(0577)33-0613 | 高山市花岡町3丁目82 |
| | 三 重 | ☎(059)254-5520 | 津市久居野村町字山神421 |
| 近畿地区 | 滋 賀 | ☎(077)582-5021 | 守山市水保町1166番地の1 |
| | 京 都 | ☎(075)646-2123 | 京都市南区上鳥羽中河原3番地 |
| | 大 阪 | ☎(06)7730-8888 | 大阪市城東区関目2丁目15-5 |
| | 奈 良 | ☎(0743)59-2770 | 大和郡山市筒井町800番地 |
| | 和歌山 | ☎(073)475-2984 | 和歌山市中島499-1 |
| | 兵 庫 | ☎(078)796-3140 | 神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 |

| 地区 | 拠点 | 電話番号 | 所在地 |
|---|---|---|---|
| 中国地区 | 鳥 取 | ☎(0857)26-9695 | 鳥取市安長295-1 |
| | 米 子 | ☎(0859)34-2129 | 米子市米原4丁目2-33 |
| | 松 江 | ☎(0852)23-1128 | 松江市平成町182番地14 |
| | 出 雲 | ☎(0853)21-3133 | 出雲市渡橋町416 |
| | 浜 田 | ☎(0855)22-6629 | 浜田市下府町327-93 |
| | 岡 山 | ☎(086)242-6236 | 岡山市北区田中138-110 |
| | 広 島 | ☎(082)295-5011 | 広島市西区南観音1丁目13-5 |
| | 山 口 | ☎(083)973-2720 | 山口市小郡下郷220-1 |
| 四国地区 | 香 川 | ☎(087)868-6388 | 高松市勅使町152-2 |
| | 徳 島 | ☎(088)624-0253 | 徳島市沖浜2丁目36 |
| | 高 知 | ☎(088)834-3142 | 高知市仲田町2-16 |
| | 愛 媛 | ☎(089)905-7544 | 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 |
| 九州地区 | 福 岡 | ☎(092)593-8002 | 春日市春日公園3丁目48 |
| | 佐 賀 | ☎(0952)26-9151 | 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 |
| | 長 崎 | ☎(095)830-1658 | 長崎市東町1919-1 |
| | 大 分 | ☎(097)556-3815 | 大分市萩原4丁目8-35 |
| | 宮 崎 | ☎(0985)63-1213 | 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 |
| | 熊 本 | ☎(096)367-6067 | 熊本市健軍本町12-3 |
| | 天 草 | ☎(0969)22-3125 | 天草市港町18-11 |
| | 鹿児島 | ☎(099)250-5657 | 鹿児島市与次郎1丁目5-33 |
| | 大 島 | ☎(0997)53-5101 | 奄美市名瀬朝仁町11-2 |
| 沖縄地区 | 沖 縄 | ☎(098)877-1207 | 浦添市城間4丁目23-11 |

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 1210

# さくいん

?
Q&A
その他

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯 

※このサービスはWEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

## パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

## パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口

365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-638**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

**Help desk for foreign residents in Japan**

**Tokyo** (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は・・・

## パナソニック 修理サービスサイト

http://lumix.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

## パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

- 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　イメージング事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号



VQT3P76
F0511NK0